

ユーザーズガイド



Océ Wide format Printer Driver 2 for Microsoft Windows

アプリケーションガイド



A CANON COMPANY

著作権および商標

Copyright

Copyright 2014 - 2018 Océ.

イラストと仕様は、各地域の市場で提供される製品やサービスに必ずしも適用されるとは限りません。本書のいかなる部分も、Océの書面による事前の許可なく、電子、機械、光学、化学、マニュアルなどのいかなる形式または手段でも、複製、複写、改変、伝送、転載、検索システムへの保存、または言語やコンピューター言語への翻訳を行うことはできません。

Océは、市場性、商品性、特定目的への適合性、非侵害性に対する保証を含め、本書に記載されている場合を除き、本書の内容に関する明示または黙示のいかなる保証もいたしません。Océは、この出版物のコンテンツの使用に起因するいかなる自然、喪失、または経費の直接的、偶発的、または必然的な損害に対して一切の責任を負うものではありません。

Océは、この出版物を改訂する権利を留保し、そのような改訂または変更を誰かに知らせる義務を負うことなく、本書の内容を適宜変更する権利を有します。

言語

イギリス英語の説明書原文。

商標

Océ, Océ ColorWave, Océ PlotWave、および Océ TDS は Océ-Technologies B.V. の登録商標です。Océ は Canon の子会社です。

Microsoft, Windows, Windows Server, PowerPoint, Excel は、米国あるいは他の国における Microsoft Corp incorporated の登録商標または商標です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者の財産です。

目次

第1章

まえがき.....	7
お客様への注意事項.....	8
Océ WPD2 のオンライン リソース.....	9
Océ WPD2 用組み込みリソース.....	10

第2章

ご使用にあたって.....	13
Océ WPD2 について.....	14
クイック インストール.....	17
最初から適切なプリント出力を得る.....	18
最初から適切なプリント出力を得るために Océ Preview を有効化する.....	18
Océ Preview を利用してファイルをプリントする.....	19

第3章

Océ WPD2 のインストール.....	21
Océ WPD2 の構成要件.....	22
Océ WPD2 2.15 の互換性.....	23
インストール.....	24
正しいインストール方法を決定する.....	24
「プリンタの追加」を使用してインストールする.....	25
[「プリンタの追加」ウィザード] を使用してプリンタ ドライバをインストールするには.....	25
「セットアップ」を使用してインストールする.....	27
Océ WPD2 のインストールを始める前に.....	27
インストール ファイルの取得.....	28
インストール モードの選択.....	29
基本環境ですぐに使用を始めるための高速インストール.....	30
高度なインストール.....	33
[カスタム インストール] (IT 関連の特別なニーズがある場合).....	33
スプール ディレクトリの場所を変更する.....	36
アップグレード.....	38
Océ WPD2 を使用しているすべてのプリンタをアップグレードする.....	38
新しいプリンタをインストールして、Océ WPD2 ドライバを使用しているプリンタをアップグレードする.....	39
プリンタの設定.....	40
デバイス構成.....	40
[接続] ボタンを使用したプリンタ情報の自動構成.....	41
プリンタ情報の手動構成.....	42
用紙構成の定義.....	43
オプション フィニッシャの指定.....	45
折りテンプレートの指定.....	46
アンインストール.....	47
setup.exe によるインストール後の削除.....	47
ネットワーク共有プリンタからのクライアント インストール後の削除 (「ポイント アンド プリント」).....	48
「プリント サーバーのプロパティ」からプリンタ ドライバを削除します。.....	48
トラブルシューティング.....	50
インストール時の問題.....	50
Océ WPD Cleaning Tool.....	51

プリンタ情報が表示されない.....	52
プリンタ情報が表示されない問題の解消.....	53
第 4 章	
ユーザー プリファレンスの定義.....	55
地域プリファレンスの定義.....	56
インターフェースの表示単位の定義.....	56
インターフェースの表示言語の定義.....	57
ページサイズのフィルタリング ([ページ サイズ フィルタリング]).....	58
第 5 章	
Océ WPD2 の日常的な使用.....	59
基本概念.....	60
Océ ワイド フォーマット プリンタ ドライバへのアクセス.....	60
アプリケーションからアクセスするには.....	60
デスクトップからアクセスするには.....	61
Océ WPD2 プリセット.....	62
プリンタ ドライバ動作の定義.....	63
プリンタ ドライバのデフォルトのプリント設定を定義するには.....	63
Océ プリセットの使用.....	64
カスタム プリセットの定義および保存.....	64
テンプレートの使用.....	65
テンプレートの適用.....	65
[Océ プレビュー] の使用.....	67
[Océ プレビュー] ウィンドウへのアクセス.....	68
プリント設定の変更.....	69
[Océ プレビュー] ウィンドウの理解 - トラブルシューティング.....	70
プリント排紙の整理.....	72
文書のプリント結果の管理.....	72
複数の部数の取得方法の定義.....	72
文書の排紙先の定義.....	73
[インボックスへ].....	73
[Smart Inbox].....	75
「Destination」名の変更.....	76
出力の排紙先の定義.....	77
上部排紙トレイ.....	77
背面出力.....	78
下部排紙トレイ.....	79
外部出力.....	80
[Océ Double Decker Pro].....	81
出力を折る.....	82
第 6 章	
Océ WPD2 の高度な使用.....	85
プリント文書のサイズの指定.....	86
原稿文書のサイズの確認.....	86
用紙での文書のサイズの定義.....	86
カット方法の定義.....	88
出力を文書でインクが使用される内容に制限.....	89
プリント出力用紙の使用の指定.....	90
プリントに使用する用紙の定義.....	90
カット方法の定義.....	90
用紙での文書の位置決め.....	92
書類を折る.....	93
書類を折るための準備.....	93
折りの出力をする文書を用紙に配置します。.....	94
タイトルの位置合わせ.....	94
折り定義.....	96

折りのためのタイトル位置の確認.....	99
文書にスタンプを適用する.....	100
スタンピング ストラテジーの定義.....	101
用紙節約 - 用紙の使用を最適化する.....	104
[自動回転の動作] の定義.....	104
プリント品質の定義.....	105
Océ WPD2 で使用できる品質の値.....	105
細い線画をプリントするためのトラブルシューティング.....	109
プリンタの自動動作の使用を有効にする.....	110
出力のカラー レンダリングを改善する.....	111
専用のプリント設定の保存と共有.....	112
専用のプリント設定を保存する.....	112
カスタム ページ サイズの定義.....	112
カスタム プリセットの定義および保存.....	113
テンプレートの作成および保存.....	114
テンプレートの共有の管理.....	115
テンプレートのエクスポート.....	115
テンプレートのインポート.....	116
カスタム サイズの共有の管理.....	117
カスタム ページ サイズの共有.....	117
カスタム ページ サイズを共有解除する.....	118
カスタム サイズのエクスポート.....	119
[カスタム サイズ] ファイルのインポート.....	120
[アカウンティング] を使用して、.....	121
[アカウンティング] - 詳細.....	121
ユーザー認証の管理.....	123

第 7 章

他のアプリケーションとの連携.....	125
プリント設定はどこで定義すればよいですか?.....	126
AutoCAD からのプリント.....	127
Océ WPD2 を AutoCAD プロッタ ドライバとして定義する.....	127
プロッタ設定の調整.....	127
AutoCAD からのプリント.....	128
AutoCAD でコピー部数を管理する.....	129
トラブルシューティング.....	130
AutoCAD ベースのアプリケーションへの最適化の確認.....	130
Océ Job Ticket 動作を定義します。.....	131

第 8 章

付録: Océ WPD Cleaning Tool について.....	133
Océ WPD Cleaning Tool とはなにか.....	134
クライアント ワークステーション上での Océ WPD Cleaning Tool の使用.....	136

第1章

まえがき

お客様への注意事項

はじめに

このマニュアルには、Océ Wide format Printer Driver 2 for Microsoft Windows の使用に役立つ情報が記載されています。製品の説明および Océ WPD2 を使用するためのガイドラインが記載されています。

本書で使用するタイポグラフィ

文字および特殊フォントの概要

テキスト表示	示す内容
[各角括弧内のテキスト]	Océ WPD2 ユーザー インターフェースのボタン、機能、値
< 山角括弧内のテキスト >	キーボード上のキー
「鉤括弧内のテキスト」	Windows オペレーティング システムの機能または値
Courier フォントで表示されるテキスト	Windows オペレーティング システムからのパスまたはソフトウェア アプリケーションからのパス

定義

注意を示す表記

このマニュアルには、特別な注意が必要な部分があります。これらの部分では、次のような情報が提供されます。

- タスクを実行する際に有用な情報など、追加的な一般情報。
- 人体への傷害または器物の損傷を避けるための情報。

Note (メモ)、Attention (注意)、および Caution (警告)

Note (メモ)、Important (重要)には注意が必要な情報が記載されています。

注意を喚起する表現の概要

語句	アイコン	示す内容
Note (メモ)		製品の正しい使用に関するヒントまたは追加情報。
重要		製品、文書またはファイルなどへのダメージを避けるための情報。

環境への取り組み

Océ では、収益性が高く持続可能な成長を実現することで、すべてのステークホルダーに価値を創造することを重視しています。Océ の戦略は、ビジネス プロセスの最適化、製品ポートフォリオの強化、流通の促進を目指すものです。これらの戦略的目標の基礎となるのが、環境への取り組みです。環境への取り組みで成果を上げることは、事業の効率性に貢献するだけでなく、より強力な製品提案の作成および市場イメージの確立に寄与します。数十年も前から Océ がコア提案の一部に環境への取り組みを盛り込んでいるのは、偶然ではありません。環境への取り組みに関する Océ のポリシーについては、www.sustainability.oce.com をご覧ください。

Océ WPD2 のオンライン リソース

はじめに

定期的に Downloads サイトにアクセスして、リソース (ドライバ、ソフトウェア アプリケーション、および関連マニュアル) を最新の状態にしておくことを推奨します。

サポート情報については、お近くの Canon 代理店にお問い合わせください。

ビデオ ファイル集の提供

Océ WPD2 は、専用 WEB ページ上に格納されているビデオ ファイル集を提供しています。

専用 WEB ページを開くには、[ヘルプ]→[ビデオの使用方法]に進んでください。

ビデオ集には次が含まれます。

- What's new in Océ WPD2 ビデオ: 異なるプリンタ ドライババージョンの新機能を紹介します。
- 追加の短編ビデオ: プリンタ ドライバ機能を十分に活用するためのヒントとコツを紹介します。

インターネット上の便利なリンク

- Océ 社の Downloads ウェブサイトにアクセスします: "<http://downloads.oce.com/>", 最新のプリンタ ドライバや関連マニュアルを見つけるには。
- Océ 社サポート Web サイトにアクセスします: "<http://www.canon.com/support/>", お近くの Canon 代理店へエントリーポイントを見つけるには。

ドライバの最新バージョンを入手します

最新のダウンロードやワイドフォーマットシステムが使用可能なドライバを見つけるには、Océ 社サポート Web サイトに接続してください。

["http://downloads.oce.com/ProductDownloads/Index/219"](http://downloads.oce.com/ProductDownloads/Index/219)

Océ WPD2 用組み込みリソース

はじめに

Océ WPD2 をインストールすると、いくつかの追加のリソースと Océ WPD2 をアンインストールするユーティリティが自動的にインストールされます。

以下のリストには、使用可能な組み込みリソースとその説明が示されています。

表には、ワークステーションからローカルで使用可能な組み込みリソースへのアクセス方法が示されています。

ユーザー マニュアル

プリンタ ドライバ パッケージに含まれているユーザー マニュアルは、英語版のみです。次の Océ 社 Web サイトから、ユーザー マニュアルの翻訳版を入手できます。"<http://downloads.oce.com/ProductDownloads/Index/219>".



メモ
ユーザー マニュアルを表示または印刷するには、PDF リーダーが必要です。

ライセンス文書

必要に応じて、このプリンタ ドライバのライセンス文書を取得できます。Océ WPD2 と関連ライセンスにより使用されているサードパーティ ソフトウェア アプリケーションの一覧です。

ライセンス文書は PDF 文書であり、このオンライン ヘルプに含まれています。英語版のみです。



メモ
ライセンス文書を表示または印刷するには、PDF リーダーが必要です。

[アンインストール ウィザード]

Océ WPD2 にはプリンタ ドライバをアンインストールするためのユーティリティがあります。

アンインストールの詳細な手順については、ユーザー マニュアルを参照してください。



メモ
このウィザードをすべて実行するには、ワークステーションの管理者権限が必要です。

組み込みリソースへのアクセス

オペレーティングシステム	パス
Windows 8 よりも前の Windows オペレーティングシステム	「スタート」メニューを開きます。[「すべてのプログラム」]→[Océ]→[Océ WPD2]を参照します。 いずれかのリソース ファイルをクリックして開きます。

オペレーティングシステム	パス
Windows 8 / 8.1 / Server 2012 R2	<ol style="list-style-type: none"> 1. 「スタート」画面から、右クリックします。 画面の下部にバーが表示されます。 2. ボトムバーから「すべてのアプリケーション」ボタンをクリックします。 使用可能なアプリケーションがすべて記載されたリストが表示されます。Océ リソースは「Oce」という名前のセクションの下にすべてリストされています。 <p> メモ このボトムバーから、組み込みリソースにアクセスすることもできます。「ファイル場所を開く」を選択して、組み込みリソースファイルが置かれているリポジトリを開きます。</p>
Windows 10 / Server 2016	<ol style="list-style-type: none"> 1. Windows ロゴ (画面の左下隅) を左クリックします。 2. 「すべてのアプリ」を選択します。 3. 使用可能なアプリケーションがすべて記載されたリストが表示されます。Océ リソースは「Oce」という名前のセクションの下にすべてリストされています。

第2章

ご使用にあたって

Océ WPD2 について

はじめに

Océ WPD2 は、新世代の WPD プリンタ ドライバです。

従来のドライバからルック アンド フィールが一新され、プレビュー機能をより快適に使用できるようになりました。

このユーザー ガイドでは、Océ WPD2 を使用して日常的な作業を行う方法について説明しています。説明されている情報には、いくつかの種類があります。

- 導入情報は、効率よく Océ WPD2 の使用を始めるための情報です
- 基本情報は、Océ WPD2 の機能などになじむための情報です
- 詳細情報は、本格的に Océ WPD2 を使用するための情報です



メモ

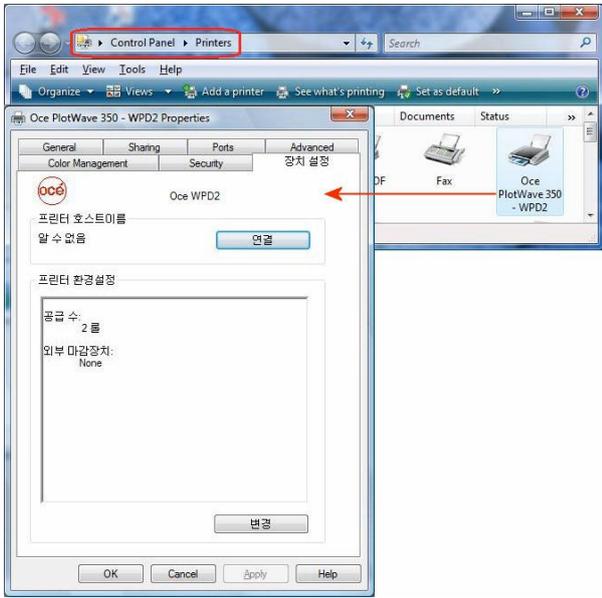
また、[オンライン ヘルプ]には、すべてのプリント設定およびその値の説明など、追加的な情報が収録されています。

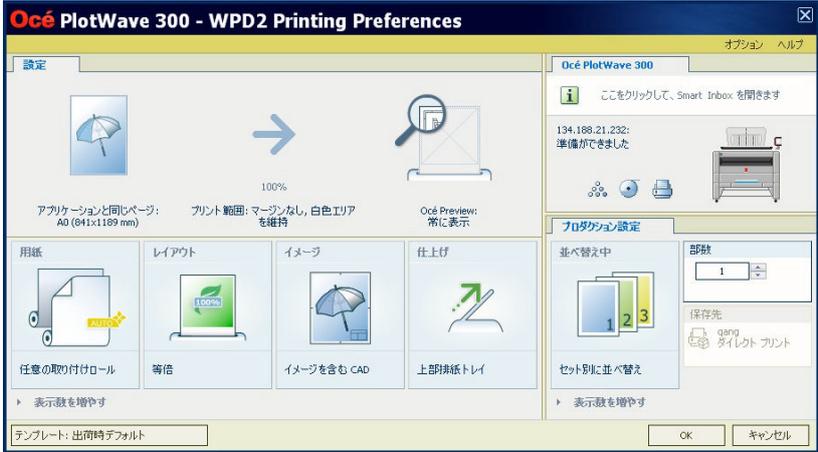
最初に、次のセクションで Océ WPD2 を構成する各ウィンドウの説明をお読みください。

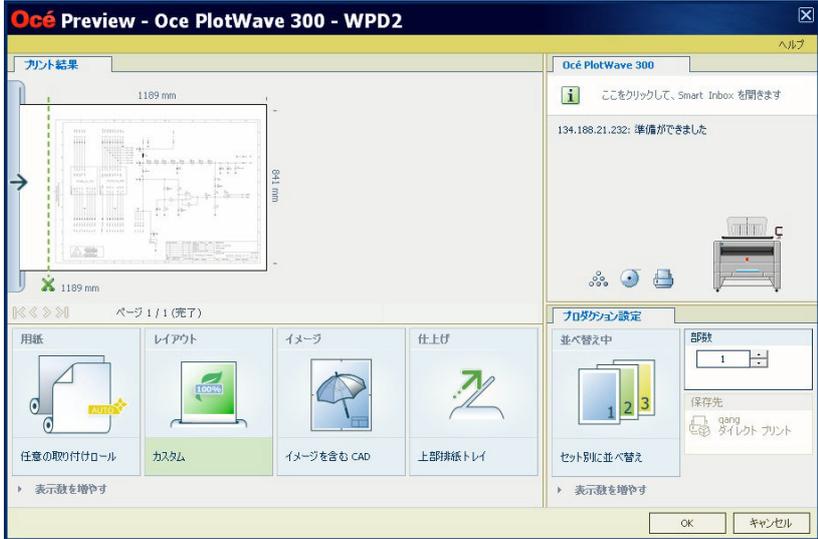
- [デバイス設定]ウィンドウでは、プリンタ ドライバとの連携を改善するためのプリンタ オプションを設定します
- [プリント プリファレンス] ウィンドウでは、プリント設定のデフォルト値を定義することができます
- [プロパティ]ウィンドウでは、実行中のアプリケーションからプリント設定を微調整します
- [Océ プレビュー]ウィンドウでは、最初から適切なプリント出力が得られるように、予想されるプリント結果を確認することができます

Océ WPD2 インターフェース

Océ WPD2 インターフェース

インターフェース名	図およびアクセス
[デバイス設定]	 <p>ワークステーションのプリンタ ページからアクセスすることができます:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プリンタ名を右クリックします。 2. [プリンタのプロパティ] を選択します。 3. [デバイス設定]タブを開きます。

インターフェース名	図およびアクセス
<p>OcéWPD2 プリント プリファレンス</p>	
	<p>ワークステーションのプリンタ ページからアクセスすることができます: 1. プリンタ名を右クリックします。 2. [プリント プリファレンス...]を選択します。</p>
<p>OcéWPD2 [プロパティ]</p>	
	<p>使用する任意のアプリケーションからアクセスすることができます: 1. アプリケーションの「ファイル」>「プリント」メニュー (または「プロット」) メニューを開きます。 2. [プロパティ]をクリックします (このボタンは、通常、プリンタ名の横にあります)。</p>

インターフェース名	図およびアクセス
[Océ プレビュー]	
	<p>使用する任意のアプリケーションからアクセスすることができます:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「Preview」設定の値が [常に表示する](送信時) または [警告時にのみ表示する] に設定されていることを確認します([プロパティ]または「プリント プリファレンス」ウィンドウからこの設定を定義します)。 2. アプリケーションの「プリント」をクリックして、ファイルをプリンタに送信します。 3. Océ WPD2 で文書の最初のページが処理されると、「プレビュー」設定の値に基づいて、[Océ プレビュー] が開きます。

クイックインストール

目的

ローカルで、素早く、プリンタをワークステーションに接続します。

始める前に

Océ WPD2 セットアップ パッケージ ('ocewpd2.<x>.exe' 実行ファイル、<x> はプリンタ ドライバ バージョンを表す) をダウンロードします。

["http://downloads.oce.com/ProductDownloads/Index/219"](http://downloads.oce.com/ProductDownloads/Index/219)



メモ
ワークステーションの管理者権限が必要です。

手順

1. プリンタ ドライバのセットアップ ファイル ('ocewpd2.<x>.exe') を実行します。
2. 使用言語を選択します。
3. エンド ユーザー ライセンス契約に同意します。
4. [高速インストール] を選択します。
5. インストールするプリンタの名前およびモデルが指定されていることを確認します。
6. [インストール ウィザード] の指示に従います。
素早く正常にインストールを完了するため、ウィザードの各ステップでデフォルト値を受け入れることをおすすめします。

結果

以上で、任意のアプリケーションから、ファイルのプリント先としてプリンタを選択できるようになりました。

プリンタ ドライバでは、高度なプリント設定 (プリント プリファレンス) および [Océ プレビュー] にアクセスすることもできます。

最初から適切なプリント出力を得る

最初から適切なプリント出力を得るために Océ Preview を有効化する

目的

任意のアプリケーションからエラーなしでプリントするために、プリンタ ドライバからデフォルト値を定義します。

使用する場合

ワークステーションにプリンタ ドライバをインストールした後。

手順

1. ワークステーションのプリンタ ページで、プリンタの名前を右クリックします。
2. [プリント プリファレンス...] を選択して、Océ WPD2 を開きます。
3. [Océ プレビュー] 設定を [常に表示する] に設定します。
プリントする前に、すべてのファイルを [Océ プレビュー] ウィンドウで確認することができるようになります。この機能は、[自動] 値に設定されたプリント設定の動作を確認するためにも役立ちます。



メモ

長いファイルをプリントする場合、[Océ プレビュー] ウィンドウが開くまでに時間がかかることがあります。このような場合、[Océ プレビュー] 設定を [警告時にのみ表示する] に設定します。[Océ プレビュー] ウィンドウは、プリントするファイル内で正しくないか、矛盾するプリント設定値が検出された場合にのみ表示されます。

4. Océ WPD2 のメイン ウィンドウから、[OK] をクリックして確認します。
[Océ プレビュー] 設定のデフォルトの動作が定義されます。

Océ Preview を利用してファイルをプリントする

手順

1. アプリケーションから、「ファイル」>「プリント」メニューを選択し、「プリント」ウィンドウを開きます。
2. ご使用のプリンタを選択します。
必要に応じてプリント設定を定義します。
3. 「プリント」(または [OK]) をクリックして、ファイルをプリントします。
ファイルが [Océ プレビュー] に送信され、処理されます。アプリケーションから定義したプリント設定があれば、[Océ プレビュー] に受信されます。
ファイルの最初のページが処理されると、[Océ プレビュー] が開きます。
4. 警告が表示されているページがあれば、[Océ プレビュー] ウィンドウから参照します。
5. このページのプリント設定を変更します。



メモ

その他のページのプリント設定を変更することもできます。問題のあるページがプレビューに表示されているページであることを確認します。

6. プリント結果が予想通りの場合、[OK] をクリックします。
ファイルがプリンタに送信されます。

結果

[Océ プレビュー] ウィンドウ ([プリント結果]) には、プリンタから出力される通りの内容が表示されます。

第3章

Océ WPD2 のインストール

Océ WPD2 の構成要件

プロセッサ

お使いの Windows オペレーティング システム用の Microsoft 最小要件を参照してください。

ディスク スペース

- ワイド フォーマット プリンタの Océ WPD2 のいくつかのインスタンスを完全にインストールするためには 90 MB が必要です。
- プリント中は、Windows によって、スプール用に数 GB が要求される場合があります。システム ディスク以外で、数 GB の空きディスク スペースがあるディスクにスプーラを設定します ([スプール ディレクトリの場所を変更する \(36 ページ\)](#))。



メモ

[Océ プレビュー] では、プリントする文書のイメージ全体を一時リポジトリ (%TEMP%) に保存します。この機能のために、文書のサイズに対応する空きディスク スペースが追加が必要となります (平均で 100 MB 程度)。

RAM

お使いの Windows オペレーティング システム用の Microsoft 最小要件を参照してください。

Océ WPD2 2.15 の互換性

オペレーティングシステムの互換性

Océ WPD2 2.15 は次のオペレーティング システムおよび環境と互換性があります。



メモ

「Home」エディションはサポートされていません。

- Windows 10 (32 ビット、64 ビット)
- Windows 8.1 (32 ビット、64 ビット)
- Windows 8 (32 ビット、64 ビット)
- Windows 7 (32 ビット、64 ビット)

- Windows Server 2016 (64 ビット)
- Windows Server 2012 R2 (64 ビット)
- Windows Server 2012 (64 ビット)
- Windows Server 2008 R2 (64 ビット)

- Novell (NDPS-iPrint)
- Citrix XenApp 6.x

ネットワークの互換性 (IPv4 - IPv6)

Océ WPD2 は IPv4 環境と完全に互換性があります。

Océ WPD2 は IPv6 環境と互換性があります。

Océ WPD2 は IPv4-IPv6 混合の環境と互換性があります。

詳細は、**Océ ColorWave-PlotWave Connectivity Manual for Windows Administrator guide** を参照してください。

セキュリティの互換性 (IPSec)

Océ WPD2 には、IPSec インフラとの互換性があります。

認証されたクライアント ワークステーションで Océ WPD2 を実行する場合、プリンタとの連携については、クライアントの権限が継承されます。

詳細については、**Océ PlotWave-ColorWave Systems - Security** 『Administrator guide』参照してください。

インストール

次世代の Microsoft® Windows® 向けワイド フォーマット プリンタ ドライバの利点: Océ WPD2。真の WYSIWYP* プレビューにより、試し刷りが不要になり、紙のムダが減ります。Océ WPD2 は生産性を高め、貴重な作業時間を節約します。

Océ WPD2 は古い世代のプリンタ ドライバと共存して使用できます: Océ WPD。使い慣れた Océ WPD のプリント設定はすべて新しい Océ WPD2 で使用できます。Océ WPD から Océ WPD2 にカスタム ページサイズをインポートすることもできます。

Océ WPD2 プリンタ ドライバをインストールするだけで、すぐに Océ デバイスで新しいプリント体験を開始できます。

(*画面に表示されたとおりに出力されること (What You See Is What You Print))

正しいインストール方法を決定する

定義

Océ WPD2 をユーザーのワークステーションにインストールする場合、ネットワーク構成に応じて異なる方法を使用できます。Océ では、次の方法を使用することをお勧めします。

- クライアント/サーバー構成では、[プリンタの追加]
- ワークステーションがプリンタに直接接続されている場合は (ピア ツー ピア、サーバー)、[設定]。



メモ

ネットワーク構成およびプリンタ アドレスに関する情報については、LAN 管理者にお問い合わせください。

クライアント/サーバー構成の場合: [プリンタの追加] を使用します

クライアント/サーバー構成の場合は、クライアント ワークステーションをプリント サーバーに接続します。Océ では、次の方法を使用することをお勧めします。

- [「プリンタの追加」ウィザード] を使用して ([「プリンタの追加」ウィザードを使用してプリンタ ドライバをインストールするには \(25 ページ\)](#)) を参照) [ネットワーク プリンタ] をインストールします。このウィザードでは、プリント サーバーから取得されたエレメントがインストールされるため、プリント サーバーに最新版のドライバがインストールされていることを確認してください (ローカル システム管理者にお問い合わせください)。
- プリンタをアンインストールする必要がある場合は、[削除] をクリックして削除します ([「ネットワーク共有プリンタからのクライアント インストール後の削除 \(ポイントおよび印刷\) \(48 ページ\)](#)) を参照)。

ピア ツー ピアまたはサーバー構成の場合: [設定] を使用します

ワークステーションとプリンタが直接接続されている場合 (たとえば、ネットワークを通じて)、Océ では、次の方法を使用することをお勧めします。

- Web サイトからダウンロードした実行可能ファイル (<driver>.exe) を実行し、[設定] を使用します ([インストール ファイルの取得 \(28 ページ\)](#) を参照)。

この方法では:

- 新規プリンタが自動的に検出されます (最新の Océ プリンタ モデル)。
- プリンタ ポートが自動的に設定されます。
- プリンタをアンインストールする必要がある場合、[アンインストール] ショートカットを使用します。[アンインストール ショートカット] は、「スタート」メニューまたは「スタート」画面から使用できます。また、[プログラムの追加/削除] Windows ユーティリティを使用することもできます ([「setup.exe によるインストール後の削除 \(47 ページ\)](#)) を参照)。

「プリンタの追加」を使用してインストールする

「プリンタの追加」ウィザード]を使用してプリンタ ドライバをインストールするには

はじめに

クライアント/サーバー構成の場合、Océ では、「[プリンタの追加]」を使用してユーザーのワークステーションに Océ WPD ドライバをインストールすることをお勧めします。この場合、ワークステーションにインストールされるドライバのバージョンは、プリント サーバー上のドライバのバージョンと同じになります。



重要

同じワークステーションでは、必ず同じ方法でドライバをインストールしてください。[設定] または [プリンタの追加] の方法を使用します。
同じワークステーションに複数のバージョンのプリンタ ドライバをインストールしないでください。
ネットワークに複数のサーバーが含まれる場合は、特に注意してください。使用するネットワーク全体で同じバージョンのプリンタ ドライバを使用する必要があります。
それ以外の方法を使用した場合、ドライバの正常な動作は保証されません。



メモ

Océ Windows Printer Driver バージョン 1.x および Océ Windows Printer Driver 2 バージョン 2.x は、同じワークステーションにインストールして実行することができます。2 つの異なる製品があります。

「プリンタの追加」ウィザードを使用してドライバをインストールします (Windows 7)。

手順

1. 「スタート」メニューから、「プリンタ」(Windows Vista) または 「デバイスとプリンター」(Windows 7) ウィンドウを開きます
2. 「プリンタの追加」をクリックすると、インストール ウィザードが起動します。
3. 「ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンタを追加します」をクリックします。
4. 「探しているプリンタはこの一覧にありません」を選択します。
5. 「共有プリンタを名前を選択する」を選択します。
6. 「参照...」をクリックして、ネットワーク プリンタを参照します。
7. 目的のプリンタの名前を選択して、「選択」をクリックします。
8. 「次へ」を 2 回クリックします。
9. 「完了」をクリックします。

結果

ワークステーションのプリンタ ページを開きます。新しいプリンタがリストにあることを確認します。

「プリンタの追加」ウィザードを使用してドライバをインストールします (Windows 8 / 8.1 / 10 および Windows Server 2012 R2 / 2016)

手順

1. 「デバイスとプリンター」ウィンドウを開きます。



メモ

スタート画面の左下隅を右クリックします。「コントロール パネル」を選択します。「デバイスとプリンター」をクリックします。

2. 「プリンタの追加」をクリックすると、インストール ウィザードが起動します。
3. 「探しているプリンタはこの一覧にありません」を選択します。
4. 「共有プリンタを名前を選択する」を選択します。
5. 「参照...」をクリックして、ネットワーク プリンタを参照します。
6. 目的のプリンタの名前を選択して、「選択」をクリックします。
警告ポップアップウィンドウが表示される場合があります。要求された場合は、以下のように指定します。
 - ドライバを信頼している
 - ワークステーション上の関連する変更を許可する
7. 「次へ」を 2 回クリックします。



メモ

以下を実行するかどうかを指定します。

- プリンタをデフォルトのプリンタとして設定する
- テスト ページを印刷する

8. 「完了」をクリックします。

結果

ワークステーションのプリンタ ページを開きます。新しいプリンタがリストにあることを確認します。

「セットアップ」を使用してインストールする

Océ WPD2 のインストールを始める前に

はじめに

インストール プロセスを簡略化するため、Océ WPD2 では Océ Connect Assistant が提供されます。

Océ Connect Assistant では、ユーザーのネットワーク構成仕様が考慮されます。Océ WPD2 で使用する最適なプリンタ ポートが選択されます。

別のプリンタ ポートを使用する必要がある場合、**Océ ColorWave-PlotWave Connectivity Manual for Windows Administrator guide** を参照してください。

プリンタ名に関する注意

Océ WPD プリンタ ドライバを Windows プラットフォームにインストールする場合:

- プリンタ名は、220 文字以内にしてください。
- 特殊文字は使わないでください ([!], [], [/] など)。



メモ

Océ WPD バージョン 1.x および Océ WPD 2 バージョン 2.x は、同じワークステーションにインストールして実行することができます。この 2 つは異なる製品です。

インストール ファイルの取得



メモ

ドライバをインストールするコンピュータのシステム管理者権限があることを確認してください。



重要

同じワークステーションでは、必ず同じ方法でドライバをインストールしてください。[設定] または [プリンタの追加] の方法を使用します。

同じワークステーションに複数のバージョンのプリンタ ドライバをインストールしないでください。

ネットワークに複数のサーバーが含まれる場合は、特に注意してください。使用するネットワーク全体で同じバージョンのプリンタ ドライバを使用する必要があります。

それ以外の方法を使用した場合、ドライバの正常な動作は保証されません。

手順

1. 最新のセットアップ ファイルをインターネットの Océ WPD2 「Downloads (ダウンロード)」 ページからダウンロードします:
["http://downloads.oce.com/ProductDownloads/Index/219"](http://downloads.oce.com/ProductDownloads/Index/219)
2. オペレーティングシステムと言語を選択します。
3. エンド ユーザー ライセンス契約に同意します。
4. インストール ファイルをワークステーションに保存することができます。
ワークステーションで管理者権限を持っている場合、インストール ファイルを直接実行することができます。

インストールモードの選択

手順

1. [インストール ウィザード] を起動します (実行可能セットアップ ファイル <driver>.exe をダブルクリックします)。



メモ

[インストール ウィザード] の起動時に、([最新情報] ハイパーリンクから) 新しい内容の説明を確認します。

2. 言語を選択して、[インストール] をクリックします。



メモ

インストール時に選択した言語が、Océ WPD2 の言語となります。言語は後からでも変更できます。



メモ

[ファイルの解凍] ボタンにより、プリンタ ドライバを構成するインストール ファイルを保存できます。今後の使用のために [インストール ウィザード] が保存されることはありません。この機能は上級のユーザー専用です。スクリプトを作成するなどのために使用します。

3. [同意] をクリックして、ライセンス契約に同意します。
4. インストール モードとして、[高速インストール] または [カスタム インストール] を選択します。[次へ] をクリックします。

結果

以下のセクションに進みます:

- [高速インストール \(30 ページ\)](#)
- または
- [カスタム インストール \(33 ページ\)](#)

基本環境ですぐに使用を始めるための高速インストール

プリンタへモデルへの接続



メモ

ドライバをインストールするコンピュータのシステム管理者権限があることを確認してください。



重要

同じワークステーションでは、必ず同じ方法でドライバをインストールしてください。[設定] または [プリンタの追加] の方法を使用します。

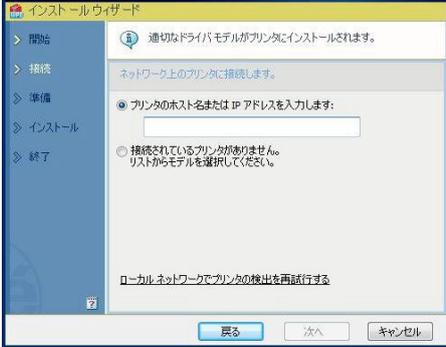
同じワークステーションに複数のバージョンのプリンタ ドライバをインストールしないでください。ネットワークに複数のサーバーが含まれる場合は、特に注意してください。使用するネットワーク全体で同じバージョンのプリンタ ドライバを使用する必要があります。

それ以外の方法を使用した場合、ドライバの正常な動作は保証されません。

手順

1. [インストール ウィザード] が、接続されているプリンタを検索します。

状況	対処法
プリンタが検出されます	リストからプリンタを選択して、確認します。 [1] 検出されたプリンタ

状況	対処法
<p>プリンタは検出されません または 後でプリンタに接続します</p>	<p>プリンタが検出されない場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> プリンタがネットワークに接続されていることを確認します。 プリンタの使用準備ができていることを確認します。 ウィンドウに表示される提案に従って: <ul style="list-style-type: none"> - [更新] アイコンをクリックします (前の図を参照) または <ul style="list-style-type: none"> - [ローカル ネットワークでプリンタの検出を再試行する] をクリックします (次の図を参照) <p>それでもプリンタが検出されない場合、プリント システムに接続するためにプリンタ コントローラ ホスト名または IP アドレスを入力します。</p> <p>後でプリンタに接続する場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> [マイ プリンタがリストにありません] をクリックします。リストからプリンタ モデルを選択するよう指定します。  <p>[?] プリンタは検出されません - プリンタは接続されません</p>

[次へ] をクリックします。

2. 画面の指示に従います。詳細については、次の手順を参照してください。



メモ

[インストール ウィザード] から、[?] アイコンをクリックすると、状況に応じた情報が表示されます。

プリンタ ドライバのインストール: [高速インストール]

手順

1. OcéConnect Assistant が開始されます。プリンタ モデルおよびプリンタ情報を取得するために、プリンタ コントローラに接続されます。検出されると、プリンタ モデルが表示されます。または、リストからプリンタ モデルを選択します。



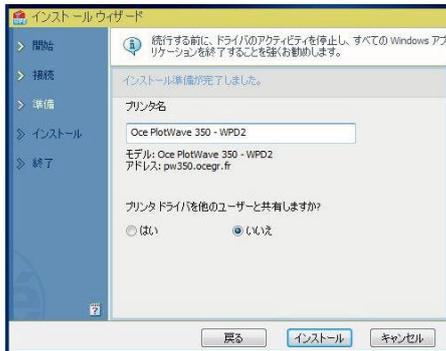
メモ

リストからプリンタ モデルを選択する場合、インストール中にプリンタ情報の取得は実行されません。この場合、必ずプリンタ情報を手動で構成してください。手動で定義した構成がプリンタ ドライバで使用されます。

以下のセクションを参照してください: [プリンタ情報の手動構成 \(42 ページ\)](#)

[次へ] をクリックします。

2. 新しいプリンタの名前を入力します (「[プリンタ名に関する注意 \(27 ページ\)](#)」を参照)。
プリンタ ドライバを共有するかどうかを指定します (クライアント/サーバー構成)。



[3] プリンタ情報

[インストール] をクリックします。

[インストール ウィザード] によって、ドライバのインストールおよび設定が実行されます。

3. ドライバのインストール後、[プリンタのデフォルト] をクリックして、プリント設定のデフォルト値を定義します。

そこで、以下の操作を実行できます。

- [テスト ページの印刷]
- [Océ Express WebTools を開く] を開き、プリンタ コントローラの設定を確認する
- [別のプリンタのインストール] または [インストール ウィザード] の終了。



[4] インストールの終了



メモ

Windows ワークステーションの「スタート」メニューに [アンインストール] ショートカットが作成されます。

「スタート」メニューから追加リソース (ユーザー マニュアルおよびアニメーション付きの PDF ファイル) にもアクセスすることができます。以下のセクションを参照してください:

[Océ WPD2 組み込みリソース \(10 ページ\)](#)

結果

ワークステーションのプリンタ ページを開きます。新しいプリンタがリストにあることを確認します。



メモ

インストール時に問題が発生した場合、ワークステーションからすべての Océ WPD2 インスタンスを削除します。その後、Océ WPD Cleaning Tool ユーティリティを使用します。

高度なインストール

[カスタム インストール] (IT 関連の特別なニーズがある場合)



メモ

ドライバをインストールするコンピュータのシステム管理者権限があることを確認してください。



重要

同じワークステーションでは、必ず同じ方法でドライバをインストールしてください。[設定] または [プリンタの追加] の方法を使用します。

同じワークステーションに複数のバージョンのプリンタ ドライバをインストールしないでください。

ネットワークに複数のサーバーが含まれる場合は、特に注意してください。使用するネットワーク全体で同じバージョンのプリンタ ドライバを使用する必要があります。

それ以外の方法を使用した場合、ドライバの正常な動作は保証されません。

手順

1. [インストール ウィザード] を起動します。
2. 画面の指示に従います。
3. 要求された場合、[カスタム インストール] を選択します。
4. 検出された場合、リストからプリンタを選択します。検出されない場合、プリンタ モデルに接続するための情報を入力します。
5. 次の手順に従って、プリンタ ドライバのインストールをカスタマイズします。



メモ

詳細については、[インストール ファイルの取得 \(28 ページ\)](#)。

[カスタム インストール] (IT 関連の特別なニーズがある場合)

手順

1. OcéConnect Assistant が開始されます。プリンタ モデルおよびプリンタ情報を取得するために、プリンタ コントローラに接続されます。検出されると、プリンタ モデルが表示されます。または、リストからプリンタ モデルを選択します。



メモ

リストからプリンタ モデルを選択する場合、インストール中にプリンタ情報の取得は実行されません。この場合、必ずプリンタ情報を手動で構成してください。手動で定義した構成がプリンタ ドライバで使用されます。

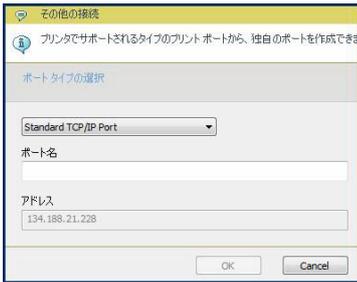
以下のセクションを参照してください: [プリンタ情報の手動構成 \(42 ページ\)](#)



[5] プリント ポートの定義

この画面で、使用するプリント ポートを選択することもできます。

目的の操作	対処法
Océ Connect Assistant によって提案されたプリント ポートを選択します	<ul style="list-style-type: none"> [Océ Connect Assistant によって推奨されたポートを使用します。] を選択します。 [次へ] をクリックします。
特定の接続用に独自のプリント ポートを定義します	<ul style="list-style-type: none"> [特定のポートを使用する] を選択します。 ドロップ ダウン リストからプリント ポートを選択するか、[詳細内容] をクリックして独自のプリント ポートを定義します。



[6] その他の接続の定義

2. インストールの準備:

手順	アクション	図
1	新しいプリンタの名前を入力します (「 プリンタ名に関する注意(27 ページ) 」を参照)。	 <p>[7] プリンタおよびドライバの共有</p>
2	プリンタ ドライバを共有するかどうかを指定します (クライアント/サーバー構成)。	
3	<p>プリンタを共有する場合:</p> <ul style="list-style-type: none"> 共有プリンタの名前を入力します。 すべてのプラットフォームでプリンタ ドライバを共有するかどうかを指定します (x86 および x64 ビットのクライアント ワークステーションの両方で)。 <p>x86 クライアント ワークステーション用のプリンタ ドライバのみをインストールするには、チェック マークを外します。</p>	
4	[インストール] をクリックします。 [インストール ウィザード] によって、ドライバのインストールおよび設定が実行されます。	

3. ドライバのインストールが完了したら、以下の作業を行うことができます。

- プリンタ設定のデフォルト値の定義 ([プリンタのデフォルト])。
- [言語]、[単位] および [ページ サイズ フィルタリング] 設定のデフォルト値の定義 ([地域設定])

- [テスト ページの印刷]
- プリンタをワークステーションのデフォルトのプリンタとして定義する
- [Océ Express WebTools を開く] を開き、プリンタ コントローラの設定を確認する
- [別のプリンタのインストール] または [インストール ウィザード] の終了。



[8] プリンタ オプションの定義



メモ

Windows ワークステーションの「スタート」メニューに [アンインストール] ショートカットが作成されます。

「スタート」メニューから追加リソース (ユーザー マニュアルおよびアニメーション付きの PDF ファイル) にもアクセスすることができます。以下のセクションを参照してください:
[Océ WPD2 組み込みリソース \(10 ページ\)](#)

結果

ワークステーションのプリンタ ページを開きます。新しいプリンタがリストにあることを確認します。



メモ

インストール時に問題が発生した場合、ワークステーションからすべての Océ WPD2 インスタンスを削除します。その後、Océ WPD Cleaning Tool ユーティリティを使用します。

スプール ディレクトリの場所を変更する

質問

スプール ディレクトリの場所を変更するには?

回答

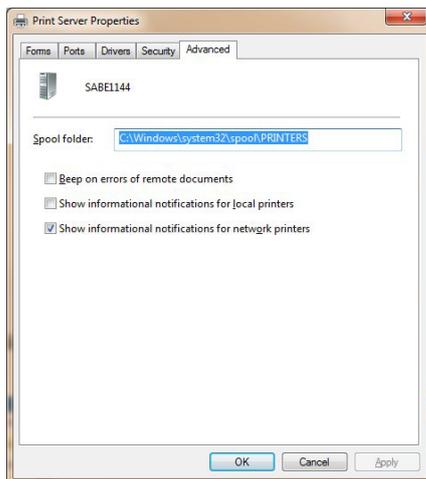
デフォルトでは、スプール ディレクトリは「C:\Windows\System32\Spool\Printers。この場所はシステムパーティション内にあるため、一杯になりやすいと考えられます。したがって、スプール ディレクトリを別の場所に移動することが想定されます (より大きいパーティションに配置するなどのため)。

スプール フォルダへの新しいパスを定義できます。



メモ

ワークステーション (クライアント/サーバー構成の場合はサーバー) に管理者権限を持つユーザーとしてログオンしていることを確認してください。



[9] プリント サーバーのプロパティ: スプール場所 (Windows 7)

手順

スプールフォルダの場所を変更する

オペレーティングシステム	手順
Windows 7 / Server 2008 R2	<ol style="list-style-type: none">1. コントロール パネルを開きます (スタート/コントロール パネル)。2. 「デバイスとプリンター」を選択し、プリンタを 1 つ選択します。3. 上部のメニュー バーで、「プリント サーバーのプロパティ」をクリックします。4. 「Print Server Properties」ウィンドウで、「Advanced」タブを選択します。5. スプール フォルダへの新しいパスを定義します。

オペレーティングシステム	手順
Windows 8 / 8.1 / 10 Windows Server 2012 R2 / 2016	<ol style="list-style-type: none">1. 「コントロール パネル」を開きます (デスクトップの左下隅を右クリックして、コントロール パネル を選択します)。2. 「デバイスとプリンター」を選択し、プリンタを 1 つ選択します。3. 上部のメニューバーで、「プリント サーバーのプロパティ」をクリックします。4. 「Print Server Properties」ウィンドウで、「Advanced」タブを選択します。5. スプール フォルダへの新しいパスを定義します。

アップグレード

次世代の Microsoft® Windows® 向けワイド フォーマット プリンタ ドライバの利点: Océ WPD2。真の WYSIWYP* プレビューにより、試し刷りが不要になり、紙のムダが減ります。Océ WPD2 は生産性を高め、貴重な作業時間を節約します。

Océ WPD2 は古い世代のプリンタ ドライバと共存して使用できます: Océ WPD。使い慣れた Océ WPD のプリント設定はすべて新しい Océ WPD2 で使用できます。Océ WPD から Océ WPD2 にカスタム ページサイズをインポートすることもできます。

Océ WPD2 プリンタ ドライバをインストールするだけで、すぐに Océ デバイスで新しいプリント体験を開始できます。

(*画面に表示されたとおりに出力されること (What You See Is What You Print))

Océ WPD2 を使用しているすべてのプリンタをアップグレードする

手順

1. [インストール ウィザード] を起動します (setup.exe をダブルクリックします)。
2. 言語を選択して、[インストール] をクリックします。
3. [同意] をクリックして、ライセンス契約に同意します。
4. コンピュータにインストールされた Océ WPD2 を使用しているすべてのプリンタのリストが表示されます。
5. [ドライバのアップグレードのみ] を選択し、[次へ] をクリックします。
[インストール ウィザード] によって、ドライバがアップグレードされます。



メモ

アップグレード中にコンピュータの再起度を回避するため、セットアップによりエクスプローラまたはスプーラの再起動が必要になる場合があります。この場合、作業中のプリントジョブが失われることがないように、警告メッセージに注意してください。

正常にアップグレードされた場合、プリンタおよびアップグレードされた関連ドライバのリストが表示されます。

6. [閉じる] をクリックして、[インストール ウィザード] を終了します。
Windows ワークステーションの「スタート」メニューに [アンインストール] ショートカットが作成されます。

新しいプリンタをインストールして、Océ WPD2 ドライバを使用しているプリンタをアップグレードする

手順

1. プリンタ ドライバをインストールおよびアップグレードするには、「[「セットアップ」を使用してをインストールするには \(28 ページ\)](#)」と同じ手順を実行します。
 1. [インストール ファイルの取得 \(28 ページ\)](#)
 2. [インストール モードの選択 \(29 ページ\)](#)

[インストール ウィザード] によって、古いバージョンのプリンタ ドライバが検出されます。アップグレードするプリンタ (およびドライバ) のリストが表示されます。

2. 2つのモードのいずれかを選択します:
 - [高速インストール] [(インストールおよびアップグレード)]
 - [カスタム インストール] [(インストールおよびアップグレード)]
3. 新規プリンタへ モデルに接続します。
4. 画面の指示に従います。
 - [高速インストール \(30 ページ\)](#)
 - [カスタム インストール \(IT 関連の特別なニーズがある場合\) \(33 ページ\)](#)

結果

新しいプリンタがインストールされます。その他すべてのプリンタは、新しいバージョンのプリンタ ドライバでアップグレードされます。

プリンタの設定

デバイス構成

はじめに

[デバイス設定] ページでは、プリンタ構成を取得および定義することができます。

[デバイス設定] ページには、ワークステーションのプリンタ ページからアクセスすることができます。

プリンタを右クリックして、プリンタの [プロパティ] を開きます。 [デバイス設定] タブを選択します。



メモ

Windows 7 以降の Windows オペレーティング システムの場合、「プリンターのプロパティ」ウィンドウから、「プロパティの変更」 ボタンを最初にクリックします。 [デバイス設定] を選択して、そのコンテンツを編集できます。

[デバイス設定]の定義 (管理者専用)

[プリンタ ホスト名]を定義または変更します。

[接続]ボタンをクリックします。

プリンタとの通信が確立されると、「プリンタ構成」セクションが更新され、使用可能な [フィード数]が表示されます (存在する場合は、使用可能な [外部フィニッシャ] も表示されます)。



メモ

プリンタ名が定義されていない場合、プリンタ ホスト名は [不明]に設定されます。



メモ

プリンタ情報の自動取得を行わずに、プリンタ ドライバを使用することもできます。

- セキュリティ上の理由で。
- プリンタ モデルが Océ TDS320 の場合。このプリンタ モデルでは、プリンタ情報の取得はできません。 [接続]ボタンはグレイ表示され、 [プリンタ ホスト名] は [不明] に設定されます。

この場合は、 [デバイス設定]情報を手動で構成します。その方法については、以下のセクションを参照してください: [プリンタ情報を手動で構成します \(42 ページ\)](#)。

[接続] ボタンを使用したプリンタ情報の自動構成

目的

この手順では、プリンタ ドライバをプリンタに接続し、更新されたプリンタ情報を取得することができます。

- 取得されたプリンタ情報は、[デバイス設定] ページに一覧表示されます。
- プリンタ ドライバ インターフェースからも追加のプリンタ情報にアクセスできるようになります。



メモ

管理者権限を持つユーザーのみがプリンタ ホスト名を定義することができます。

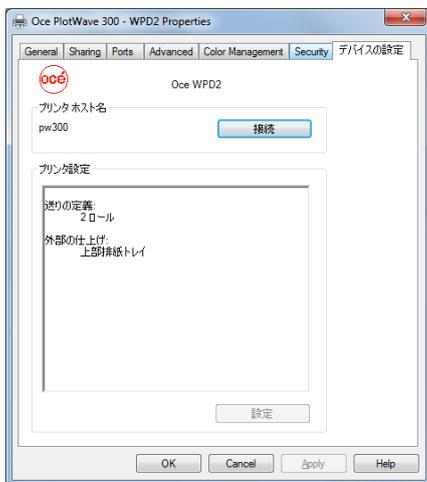


メモ

次の手順は Océ TDS320 プリンタ モデルには適用しません: プリンタ情報の自動取得はサポートされていません。[接続] ボタンはグレイ表示されています。

手順

1. [デバイス設定] ページを開きます。
2. [接続] をクリックします。
3. プリンタ名 (インストール時に定義したプリンタのホスト名または IP アドレス) を入力または変更します。
4. [OK] をクリックします。
プリンタ名が [デバイス設定] ウィンドウに表示されます。プリンタ ドライバがプリンタに接続されます。プリンタ ドライバは自動的にプリンタ情報を取得します。



メモ

プリンタを接続できない場合は、エラー メッセージが表示されます。この場合、[プリンタ ホスト名] フィールドに [不明] が表示されます。

その場合でもドライバは使用できますが、プリンタ情報 ([ロール]、プリンタ ステータスなど) を取得したり、更新したりすることはできません。

この場合、必要に応じてプリンタ情報を手動で構成できます。以下のセクションを参照してください: [プリンタ情報の手動構成 \(42 ページ\)](#)

プリンタ情報の手動構成

はじめに

次の場合に、プリンタ情報を手動で構成します。

- プリンタ情報の取得を非アクティブ化する場合。
- ネットワーク制約、またはプリンタ コントローラ システムの構成によって、情報を取得できない場合。
- 後でプリンタをネットワークに接続する場合。

始める前に

ワークステーションの管理者権限が必要です。



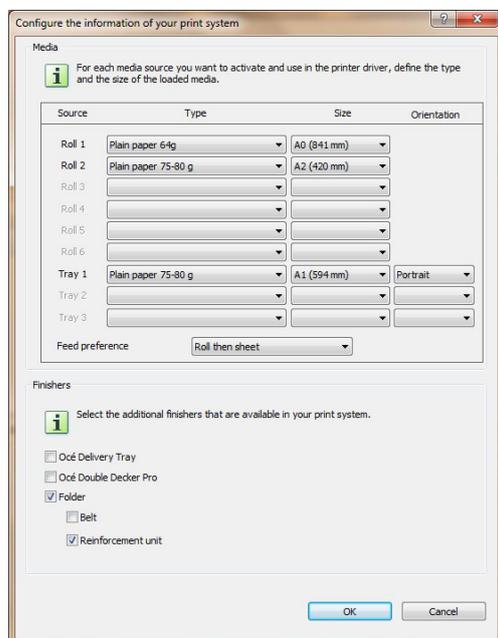
メモ

プリンタ ドライバのインターフェイスにプリンタ情報を自動的および動的に構成するには、プリンタ情報の手動取得を行えるようにする必要があります。

以下のセクションを参照してください: [接続ボタンを使用してプリンタ情報を構成する \(41 ページ\)](#)

手順

1. [デバイス設定] ページを開きます。
[プリンタ ホスト名] フィールドには、[不明] が表示されている必要があります。表示されていない場合、プリンタを切断します。これを行うには、次のようにします。
 1. [接続] ボタンをクリックします。
 2. プリンタの IP アドレスまたはホスト名を削除します。
 3. [OK] をクリックして、[デバイス設定] ページに戻ります。
2. [設定] ボタンをクリックします。
[プリント システム情報の設定] という名前の新しいウィンドウが開きます。



[10] プリンタ情報の手動設定

3. プリンタ ドライバ用に、次のプリンタ構成を定義します。
 - アクティブ化する用紙送り ([用紙設定の定義 \(43 ページ\)](#) を参照)。

- プリンタ ドライバ ユーザーが使用できるようにするオプションのフィニッシャ ([オプション フィニッシャの指定 \(45 ページ\)](#) を参照)。
- プリンタ ドライバで取得する折りテンプレートのリスト ([折りテンプレートの指定 \(46 ページ\)](#) を参照)。



メモ

各構成セクションが使用可能かどうかは、プリンタ モデルとその機能によって異なります。

用紙構成の定義

始める前に

プリンタ情報を手動で構成するときに、必要な用紙ソースを構成できます。

[デバイス設定] → [設定] → [用紙]

手順

1. テーブルの各列は、プリンタの用紙ソースを表しています。最初の列はロール 1 を表し、2 番目の列はロール 2 を表します。以降同様に続きます。
アクティブ化する用紙ソースを特定します。



メモ

指定された用紙テーブルが、プリンタ モデルに使用できる最大設定に従って自動的に調整されます。

2. [種類] 列のドロップダウン リストから、アクティブ化する用紙ソースに充填する用紙タイプを選択します。
3. [サイズ] 列のドロップダウン リストから、メディア ソースに充填する用紙サイズを選択します。
[ソース] 列のテキストは黒色になります。これは、その用紙ソースがアクティブ化されたことを意味します。
4. プリンタ モデルに応じて、最大 3 つのトレイを用紙ソースとして設定できます。この場合、トレイに充填されている用紙の [方向] も指定する必要があります。
提案された値から [縦] または [横] を選択します。



メモ

[デバイス設定] ウィンドウには、矛盾処理メカニズムはありません。これは、プリント設定が矛盾している可能性があっても、プリンタ ドライバから警告が出されないことを意味します。プリンタ ドライバの手動設定は、各自の責任で行ってください。
たとえば、用紙ソースの手動設定では、[トレイ 1] を A0 用紙タイプに設定し、向きを [横] に設定できます。ただし、この設定は Océ WPD2 では不可能なため、プリンタ ドライバの動作は保証されません。

5. アクティブ化する用紙ソースごとに、上記の手順を繰り返します。



メモ

すべての用紙ソースをアクティブ化する必要はありません。



メモ

プリンタ設定にロールとトレイの両方が含まれている場合、[フィード プリファレンス] を定義することができます。用紙ソースの選択が自動である場合、[フィード プリファレンス] 値はプリンタ ドライバのデフォルト動作を示します。デフォルトでは、取り付けられたロール紙がトレイに充填されているシートよりも優先されます。

例

プリンタに 6 つのロールがある場合に、それらの 6 つのロールのうち 2 つのロールのみをアクティブ化することもできます。このようにすることで、プリンタでの用紙の使用法を制限したり、制御したりすることができます。

たとえば、プリンタ ドライバのユーザーがロール 1 とロール 3 に充填された用紙のみを使用するように設定できます。

これを行うには、次のようにします。

- 最初の列のタイプとサイズを定義します。
ロール 1 に対応する用紙がプリンタ ドライバでアクティブ化されます。
- 次に、3 番目の列のタイプとサイズを定義します。
ロール 3 に対応する用紙がプリンタ ドライバでアクティブ化されます。

プリント時に、ユーザーはプリンタ ドライバからロール 1 またはロール 3 のみを使用できます。

オプションフィニッシャの指定

始める前に

プリンタ情報を手動で構成するときに、プリントシステムで使用可能なオプションフィニッシャを指定できます。

[デバイス設定]→[設定]→[フィニッシャ]



メモ

このセクションが使用可能かどうかは、プリンタモデルによって異なります。



メモ

すべてのプリンタフィニッシャを自動構成するには、プリンタ情報の自動取得を行えるようにする必要があります。

手順

1. プリントシステムで使用可能な各フィニッシャの前にチェックマークを入れます。
このようにして、プリンタドライバユーザーがフィニッシャを使用できるように指定します。



メモ

[デバイス設定] ウィンドウには、矛盾処理メカニズムはありません。これは、プリント設定が矛盾している可能性があっても、プリンタドライバから警告が出されないことを意味します。プリンタドライバの手動設定は、各自の責任で行ってください。

たとえば、プリンタの背面に接続可能なフィニッシャは相互に排他的です。1つのフィニッシャのみを背面出力として指定する必要があります。



メモ

ご使用のプリントシステムでオプションとして使用可能なフィニッシャのみがここにリストアップされています。このセクションは、プリントシステムに折り機が含まれている場合に重要で、それによって折り設定を使用できるかどうかが決まります。

結果

プリンタドライバから、ユーザーはプリントアウトの排紙先としてこれらのフィニッシャのいずれかを選択できます。



メモ

フィニッシャが設定されていない場合、Océ WPD2 インターフェースから [仕上げ] 設定は表示されません。この場合、プリントシステムのデフォルトのフィニッシャが常に使用されます。

折りテンプレートの指定

始める前に

次の場合のみ、プリント システムに定義されている折りテンプレートを指定できます。

- プリンタ情報を手動で構成する場合。
- プrint システムで以前に折り機を指定した場合。

[デバイス設定]→[設定]→[フォールド テンプレート]



メモ

このセクションが使用可能かどうかは、プリンタ モデルによって異なります。



メモ

折りテンプレートの自動および完全な取得を行うには、プリンタ情報の自動取得を行えるようにする必要があります。

手順

1. テキスト領域内をダブルクリックして、テキスト フィールドを表示します。
2. このテキスト フィールドに、指定する折りテンプレートの名前を入力します。



重要

プリンタ コントローラのプリント システム管理者によって定義された名前と正確に同じ名前を入力するようにしてください。タイプミスがあると、折りテンプレートが適用されません。

3. 折りテンプレート リストに折りテンプレートを追加するには、キーボードの Enter キーを押します。



メモ

[フォールド テンプレート リスト] から、次も行えます。

- 折りテンプレートの指定。
- 折りテンプレートの表示順序の編成。ここに定義する順番がプリンタ ドライバで反映されます。

アンインストール

setup.exe によるインストール後の削除

はじめに

インストール時に使用した方法に対応するアンインストール手順を選択し、それに従ってください。

始める前に

- プリンタが使用中でないことを確認してください。
- すべてのウィンドウを閉じます。
- クライアント/サーバー構成の場合、クライアントのドライバを先にアンインストールします。

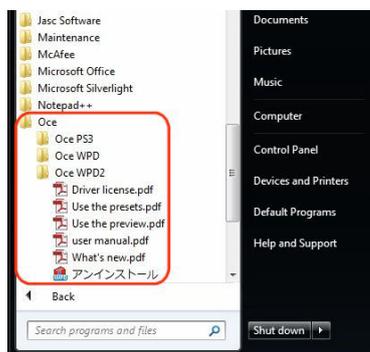
手順

1. コンピュータのシステム管理者としてログオンします。
2. Windows 「スタート」メニューから使用可能な Océ WPD2 - Un-install ショートカットをダブルクリックします。
[アンインストール ウィザード]が起動します。



メモ

[アンインストール]ショートカットがない場合、[プログラムの追加/削除]ユーティリティを開きます。「Océ WPD2」を選択して、[変更と削除]をクリックします。



[11] [アンインストール]

3. [アンインストール]をクリックします。
4. アンインストールするプリンタを選択し、[次へ]をクリックします。
5. アンインストールするプリンタ ドライバ [(使用されていないドライバ)]があれば選択し、[次へ] をクリックします。
6. 削除されるコンポーネントのリストが表示されます。
 - コンポーネントのリストを変更するには、[戻る]をクリックします。
 - 削除を確定するには、[削除]をクリックします。
7. [アンインストール ウィザード]によって各コンポーネントの [ステータス] が表示されます。
[次へ]をクリックします。
8. Océ からの推奨メッセージを注意深く読み、指示があればそれに従います (Windows の再起動が必要となる場合があります)。
[閉じる]をクリックして、[アンインストール ウィザード] を終了します。

ネットワーク共有プリンタからのクライアント インストール後の削除 (「ポイント アンド プリント」)

手順



メモ

- WPD がデフォルトのプリンタに関連付けられていないことを確認します (可能な場合)。
 - プリント キューに文書がないことを確認します。
1. プリンタ ページ (ご使用の Windows オペレーティング システムに応じて、「プリンタと FAX」または「デバイスとプリンター」) にアクセスします。
 2. プリンタを右クリックし、「削除」 (ご使用の Windows オペレーティング システムに応じて、「デバイスの削除」) を選択します。
 3. ネットワーク共有プリンタのリストからプリンタ ドライバを削除します ([「プリント サーバーのプロパティ」からプリンタ ドライバを削除します](#) (48 ページ) を参照)。

「プリント サーバーのプロパティ」からプリンタ ドライバを削除します。

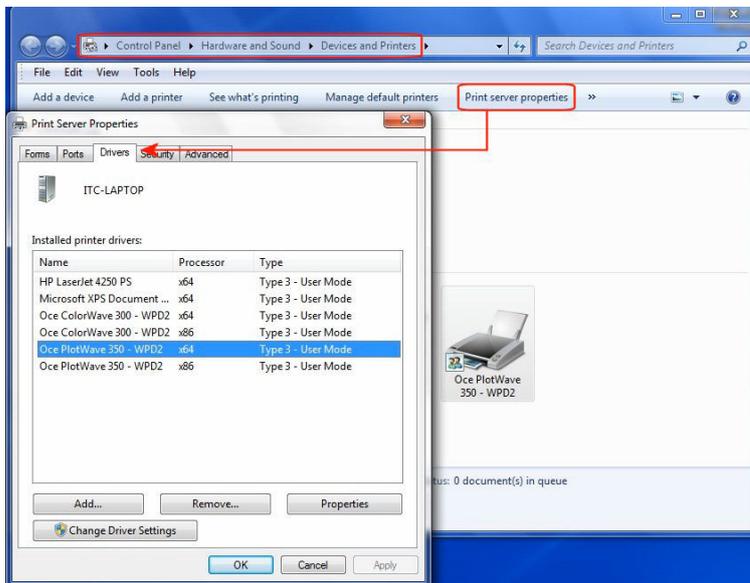
手順

1. プリンタ ページから ([「デスクトップからアクセスするには \(61 ページ\)」](#)を参照)、ファイル - サーバーのプロパティ を選択します。



メモ

- 「サーバーのプロパティ」からプリンタ ドライバを削除するには、コンピュータでシステム管理者の権限があることを確認してください。
- Windows 7 では、プリンタを選択してから、「プリント サーバーのプロパティ」 (上部メニューバーに表示されます) をクリックします。



2. 「ドライバ」タブに移動します。
3. 削除する Océ Wide format Printer Driver を選択します。

4. [削除]をクリックします。



メモ

追加のドライバも削除します (もしあれば)。

5. 特に、新しいドライバのインストールを実行した場合は、ワークステーションを再起動することをお勧めします。

トラブルシューティング

インストール時の問題

定義

ネットワーク構成に応じて正しいインストール方法を決定することをお勧めします ([正しいインストール方法を決定する \(24 ページ\)](#) を参照)。



重要

同じワークステーションでは、必ず同じ方法でドライバをインストールしてください。[設定] または [プリンタの追加] の方法を使用します。

同じワークステーションに複数のバージョンのプリンタ ドライバをインストールしないでください。ネットワークに複数のサーバーが含まれる場合は、特に注意してください。使用するネットワーク全体で同じバージョンのプリンタ ドライバを使用する必要があります。それ以外の方法を使用した場合、ドライバの正常な動作は保証されません。



メモ

複数のプリンタを使用しており、ドライバのインストール方法が不明な場合、新しいドライバを追加する前に、すべてのプリンタ ドライバをアンインストールすることをお勧めします。

推奨事項

Océ では、次の方法を使用することをお勧めします。

- クライアント/サーバー構成でユーザーのワークステーションにインストールする場合は、[プリンタの追加]
- ワークステーションがプリンタに直接接続されている場合は (ピア ツー ピア)、[設定]

Océ WPD Cleaning Tool

はじめに

Océ WPD Cleaning Tool はスタンドアロンの実行可能ファイルです。

名前は **ocewpd_clean.exe** で、サイズは 900KB 以下です。

この実行可能ファイルをインストールする必要はありません。USB キーから実行できます。

定義

Cleaning Tool の目標は、トラブルシューティング ユーティリティを提供することにあります。

このユーティリティにより、ワークステーションから、古いバージョンの Océ WPD プリンタ ドライバの残存コンポーネントがすべて削除されます。両方のプリンタ ドライバに該当します: WPD 1.x および WPD2 v2.x。

Cleaning Tool を使用して、

- Océ WPD プリンタ ドライバのインストールで問題が発生した場合。
- 古いバージョンの Océ WPD プリンタ ドライバのインストール時に使用されたインストール方法が不明の場合。
- 同一のワークステーションへの Océ WPD プリンタ ドライバのインストールに「セットアップ」および「プリンタの追加」インストール方法が使用されている場合。
- 不正な動作のため Océ WPD プリンタ ドライバをアンインストールした場合。

ワークステーションに問題が残っていないことを確認します。

Océ WPD Cleaning Tool ユーティリティ

インストールで問題が発生した場合、をインストールする前に Océ WPD Cleaning Tool を使用することをお勧めします。

Océ WPD Cleaning Tool は、Océ 社の国際的な Web サイトからダウンロードできます。

Océ WPD2 ページに移動します。Downloads/Drivers and Software タブで Utilities タイプを選択し、Cleaning Tool を検索します。

["http://downloads.oce.com/ProductDownloads/Index/219"](http://downloads.oce.com/ProductDownloads/Index/219)

ワークステーションで Cleaning Tool を実行し、の残存コンポーネントをクリーンアップします。

ツールの詳しい使用法はダウンロード パッケージに含まれています。基本的な情報は、このマニュアルの付録として追加されています。

プリンタ情報が表示されない

質問

プリンタ ドライバのインストール後、プリンタ情報を取得するにはどうすればよいですか？

回答

2つの方法があります:

1. ファイアウォールで TCP/IP ポート番号 65200 を開き、プリンタ情報の取得プロセスが実行されるようにします。
2. システム管理者に連絡し、プリンタ コントローラ上の「Security Pack」のセキュリティ レベルを確認します。
プリンタ コントローラで「Security Pack」のセキュリティ レベルが「High」に設定されている場合、プリンタ情報は使用できません。

プリンタ情報が表示されない問題の解消

はじめに

情報取得は、プリンタ ドライバのインストール時に有効化されます。

しかし、インストール時に情報取得を確立することができない場合があります。この場合、管理者権限を持つユーザーが手動で有効化する必要があります。

情報取得を手動で有効化するには

管理者権限を持つユーザーは、プリンタ情報の取得を手動で有効化することができます。その方法については、以下のセクションを参照してください: [プリンタ情報の手動構成 \(42 ページ\)](#)

プリンタ情報の自動取得を有効化するには、以下のセクションを参照してください: [接続ボタンを使用してプリンタ情報を構成する \(41 ページ\)](#)

この場合、Océ WPD2 を開くたびにプリンタのオプションが取得され、更新されます。

トラブルシューティング

プリンタ情報の自動取得を使用する場合は、以下の点に留意してください:

- プリンタの識別およびプリンタへの接続のためにホスト名または IP アドレスが定義されていること
- プリンタの電源がオンになっていること
- プリンタがネットワークに接続されていること
- プリンタ コントローラで「Security Pack」のセキュリティ レベルが「High」に設定されていないこと

第4章

ユーザー プリファレンスの定義

地域プリファレンスの定義

はじめに

プリンタドライバインターフェースで使用する表示言語および単位を定義します。必要に応じてリストのページサイズを調整します。

コンテキスト

- インストール時
または
- Océ WPD2 プリント プリファレンスまたは [プロパティ] ウィンドウから



メモ
[地域設定] を [Océ プレビュー] ウィンドウから変更することはできません。

インターフェースの表示単位の定義

手順

1. [オプション]→[地域設定] メニューを開きます。
2. 使用する測定単位を選択します。
3. 確認して、[OK] をクリックします。

インターフェースの表示言語の定義

手順

1. [オプション]→[地域設定] メニューを開きます。
2. [言語] ドロップダウン リストから使用する言語を選択します。
3. 確認して、[OK] をクリックします。

関連情報

[ページサイズのフィルタリング \(ページサイズ フィルタリング\) \(58 ページ\)](#)

ページサイズのフィルタリング ([ページサイズフィルタリング])

目的

[ページサイズフィルタリング] リストから、[アプリケーションに従ったページ] リストに表示するページサイズの種類を選択することができます。特定のページサイズ系列を使用する場合に特に便利です: [アプリケーションに従ったページ] リストが短くなります。



メモ
インストール時に定義されたプリファレンスをここで変更することができます。

ページサイズリスト用のフィルターを定義します。

1. [オプション]→[地域設定] メニューを開きます。
2. 使用する用紙サイズ系列のチェック ボックスをオンにします。
使用しない用紙サイズ系列のチェック ボックスをオフにします。
選択された系列の用紙サイズが [アプリケーションに従ったページ] リストに表示されます。



メモ
使用可能なフィルターは、プリンタ モデルによって異なります。

3. 確認して、[OK] をクリックします。

使用可能な用紙サイズ系列のリスト

- [ISO A (A0,A1,...)]
- [ISO B (B0,B1,...)]
- [ANSI (E,D,...)]
- [アーキテクチャラル (E+,D+,...)]
- [JIS (JIS B1, JIS B2,...)]
- [日本サイズ (880mm、800mm...)]
- [追加のアジアサイズ (880×1210mm、860×1210mm...)]

第5章

Océ WPD2 の日常的な使用

基本概念

Océ ワイド フォーマット プリンタ ドライバへのアクセス

アプリケーションからアクセスするには

はじめに

Océ WPD2 には次の方法でアクセスできます。

- アプリケーションから
- デスクトップから

手順

1. アプリケーションを開きます。
2. 文書を開きます。
3. 「ファイル - プリント」または「ファイル - ページ設定」を選択します。
4. プリンタを選択します。
5. [プロパティ] をクリックします。

デスクトップからアクセスするには

手順

1. ワークステーションのプリンタ ページを開きます:
次の項目を選択します。
 - 「スタート」 - 「コントロール パネル」 - 「デバイスとプリンター」 (Windows 7)
 - スタート画面 - 「コントロール パネル」 (スタート画面の左下隅を右クリック) - 「デバイスとプリンター」 (Windows 8 / 8.1 / 10 および Windows Server 2012 R2 / 2016)
2. プリンタを右クリックします。
3. [プリント プリファレンス...] を選択します。

Océ WPD2 プリセット

定義

プリセットはテンプレートに似ていますが、プリント設定のグループにのみ適用されます。

プリント設定のグループは 1 つの列にまとめられ、タイルによって表されます。

Océ WPD2 には、次の [設定] のグループ 4 つについて、デフォルトのプリセットがあります。「[用紙]」、「[レイアウト]」、「[画像]」、「[仕上げ]」。

デフォルトのプリセットは、任意の Océ WPD2 ウィンドウ (プリント プリファレンス、[プロパティ] または [Océ プレビュー] ウィンドウ - [Océ WPD2 インターフェース \(14 ページ\)](#))。

プリセットのリストを表示するには、メイン タイルをクリックします。

Océ プリセット

デフォルトでは、事前に定義されたいくつかのプリセットを

1. 関連するプリセットのリストを表示するには、プリント設定のグループを表すタイルをクリックします。
2. 目的のプリセットを選択します (プリセットの名前はプリント目的を反映しています)。プリセットは、このプリント設定のグループの値に適用されます。変更されたプリント設定は、緑色で表示されます。

カスタムプリセット

プリセットで定義された値を変更することができます。

この場合、タイルの下のプリセットの名前が [カスタム] に変わります。

この名前を編集することができます。

その方法については、以下のセクションを参照してください: [カスタム プリセットの定義および保存 \(プリント設定の保存\) \(113 ページ\)](#)

プリンタ ドライバ動作の定義

プリンタ ドライバのデフォルトのプリント設定を定義するには

はじめに

アプリケーションから、いつでも文書のプリント設定を定義することができます。そのためには、プリンタを選択し、[プロパティ] ボタンをクリックします。

また、使用する任意のアプリケーションから、すべての文書に適用するデフォルトのプリント値を定義することもできます。

目的

デフォルトのプリント設定は一度だけ定義します。これらの設定は、ワークステーションのすべてのアプリケーションから適用されます。

手順

1. ワークステーションのプリンタ ページにアクセスします。
以下のセクションを参照してください: [アプリケーションからアクセスするには \(60 ページ\)](#)
2. プリンタを右クリックします。
3. [プリント プリファレンス...] を選択します。
Océ WPD2 プリント プリファレンス ウィンドウが開きます。
4. 各プリント設定について、デフォルトで適用する値を定義します。
5. [OK] をクリックして確認し、ウィンドウを閉じます。

結果

定義されたすべてのプリント設定が、任意のアプリケーションからのプリント時のデフォルト値になります。

プリントする文書またはユーザーの必要に応じて、アプリケーションから設定を変更することができます。

Océ プリセットの使用

目的

プリセットは、デフォルトで事前に定義されたプリント設定のグループです。

各タイトルは、複数のプリセットに関連付けられます。プリセットは、一般に Océ WPD2 ユーザーによって定義される主なプリント設定で構成されます。

Océ プリセットを使用して、プリントの目的を表します。

プリセットで定義された値を変更することができます。この場合、独自のカスタム プリセットを作成します。

使用する場合

独自のプリント設定のデフォルト値を定義するとき (Océ WPD2 プリント プリファレンス ウィンドウ)。

文書をプリンタに送信する前 (Océ WPD2 [プロパティ] または [Océ プレビュー] ウィンドウ)。



メモ

カスタム プリセットは、プリント設定のグループ毎に 5 つまでしか保存することはできません。

手順

1. デフォルトでは、事前に定義されたいくつかのプリセットを Océ WPD2 から使用できます。関連するプリセットのリストを表示するには、プリント設定のグループを表すタイトルをクリックします。
2. 目的のプリセットを選択します (プリセットの名前はプリント目的を反映しています)。
3. プリセットは、このプリント設定のグループの値に適用されます。変更されたプリント設定は緑色で表示されます。

カスタム プリセットの定義および保存

手順

1. [表示数を増やす] をクリックして、プリンタ ドライバ インターフェースを展開します。
2. プリント設定のグループ用にプリント設定値を定義します。
メイン タイルの下の名前が [カスタム] に変化します。
3. [カスタム] という単語にマウス カーソルを合わせます。
4. [節約 (セーブ)] アイコンをクリックします。
5. プリセット用に説明的な名前を入力します。
6. <Enter> キーを押して確定します。
作成したプリセットは、このプリント設定のグループに関連付けられたプリセットのリストから使用することができます。
プリセットのリストを表示するには、メイン タイルをクリックします。

テンプレートの使用

目的

同じプリント設定を日常的に使用する場合、設定をテンプレートに保存することで時間を節約することができます。該当するテンプレートを文書に適用することができます。これにより、プリントするたびに同じ設定を定義する必要がなくなります。

使用する場合

- Océ WPD2 プリント プリファレンスまたは [プロパティ] ウィンドウから。
- 該当するプリント設定を定義した後。
- プリンタ ドライバのメイン ウィンドウで [OK] をクリックする前。

手順

1. 該当するプリント設定を定義します。
2. 「Océ WPD2」ウィンドウの一番下から、[テンプレート] フィールドに値 [カスタム] が設定されます。[カスタム] という単語にマウス カーソルを合わせます。
3. [節約 (セーブ)] アイコンをクリックします。
4. テンプレートの名前を入力します。
5. <Enter> キーを押して確定します。テンプレートのリストにテンプレートが追加されます。

 メモ
完全なテンプレートのリストは、[オプション]→[テンプレート] メニューで使用できます。

 メモ
最大 100 のテンプレートを保存できます。

テンプレートの適用



手順

1. テンプレート リストを表示するには、プリンタ ドライバ インターフェースの下部にある [テンプレート] フィールドをクリックします。

2. テンプレートのリストから目的のテンプレートを選択します。
テンプレートの定義に応じて、すべてのプリント設定が一度に変更されます。
3. Océ WPD2 のメイン ウィンドウで、[OK] をクリックします。

ウィンドウが Océ WPD2 の場合	対処法
「プレビュー」ウィンドウ	文書がプリンタに送信されます。
「プリント プリファレンス」ウィンドウ	このテンプレートがデフォルトになります。Océ WPD2 を使用するたびに、このテンプレートが適用されます。
「プロパティ」ウィンドウ	文書をプリンタに送信するには、アプリケーションから「プリント (印刷)」をクリックします。



メモ

選択したテンプレートが適用不能の場合、プリントは実行されません。テンプレート名の前に特別なグラフィックが表示されます。

[Océ プレビュー]の使用

目的

[Océ プレビュー]を使用して、プリント結果が予想通りであるかどうか確認します。

複数ページの文書の場合、矢印を使って文書内のページを移動します。ページごとにプリント設定を定義 (または微調整) することができます。

使用する場合

文書をプリンタに送信する準備ができたとき。



メモ

一部のプリント設定は、[Océ プレビュー] ウィンドウから使用することはできません。



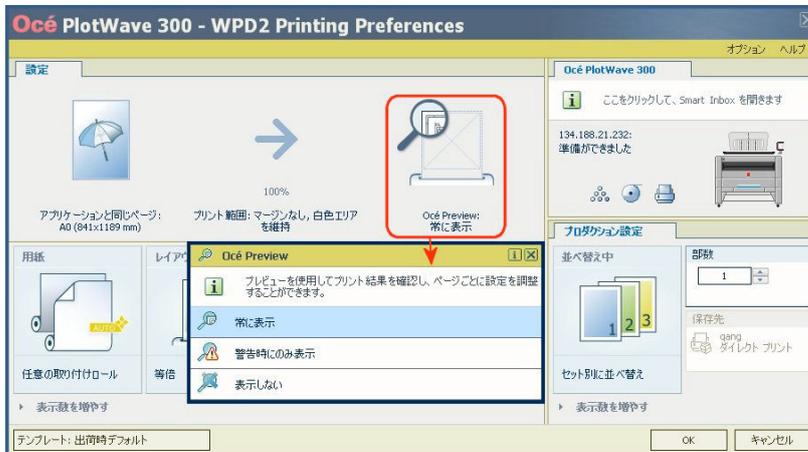
メモ

文書の最初のページが処理された後、[Océ プレビュー] で開かれます。最初のページが複雑なほど、表示されるまでにかかる時間が長くなります。



手順

1. Océ WPD2 プリント プリファレンスまたは [プロパティ] ウィンドウから、[Océ プレビュー] 設定を選択します。



2. 提案されたいずれかの値を選択します:
 - [常に表示する]
 - [警告時にのみ表示する]
 - [表示しない]
3. 確認して、[OK] をクリックします。

関連情報

[最初から適切なプリント出力を得るために Océ Preview を有効化する \(18 ページ\)](#)

[Océ プレビュー] ウィンドウへのアクセス

手順

1. 「プレビュー」ウィンドウにアクセスするには、[Océ プレビュー] 設定が次のいずれかに設定されている必要があります:
 - [常に表示する]
 - [警告時にのみ表示する]
2. アプリケーションから、「ファイル」>「プリント」メニューを選択し、「プリント」ウィンドウを開きます。
3. 「プリント」(または [OK]) をクリックして、ファイルをプリントします。
4. [Océ プレビュー] 設定の値に従って、「Océ WPD2 Preview」ウィンドウが開きます。
[プリント結果] セクションから、文書のプリント方法を確認します。

プリント設定の変更

手順

1. 複数ページの文書の場合、矢印キーを使用して文書の特定のページに移動します。



メモ

[Océ プレビュー] ウィンドウから変更したプリント設定は、文書の現在のページにのみ適用されます。

2. 使用可能なプリント設定を変更します。
変更した設定が緑色で表示されます。



メモ

プレビューしたページに警告アイコンが表示される場合があります。これは、一部のプリント設定をページに適用することができないことを意味します。また、一部のプリント設定が矛盾していることを意味する場合があります。いずれの場合も、問題のあるプリント設定がオレンジ色で表示されます。

3. プレビューで予想される結果を確認します。

結果

予想されるプリント結果を受け入れる場合、[OK] をクリックします。文書がプリンタに送信されます。

[Océ プレビュー] ウィンドウの理解 - トラブルシューティング

始める前に

「Print」をクリックしました。[Océ プレビュー] ウィンドウが表示されます。

使用する場合

期待された結果を変更する必要があります。

プリント設定の一部を変更することができますが、その他を変更することができなくなりました。実際には、正確なプレビューを表示するために、プリンタ コントローラが書類のプリントの処理を開始しました。結果として、プリント設定の一部は使用できなくなっています。

元のページサイズが正しくない

元のページサイズを変更するために、直前の Océ WPD2 のウィンドウ ([プロパティ] ウィンドウ) に戻る必要があります。

現在の [Océ プレビュー] ウィンドウを閉じます。アプリケーションから、「Print」ウィンドウで「Properties」ボタンをクリックします。

も参照してください。 [Océ WPD2 のインターフェース \(14 ページ\)](#)

タイトルが折りのために正しく位置合わせされていない

青色の三角形は、折りパッケージの上部が配置されると予測される位置を示しています。この三角形は、タイトルの上に重なって表示される必要があります。これは、タイトルが折りのために正しく位置合わせされていることを示しています。

タイトルが正しく位置合わせされていない場合、以下を実行できます。

- [レイアウト] 設定 ([回転] および/または [配置]) の変更
- 折りパッケージの上部の再定義 (直前のウィンドウ - Océ WPD2 [プロパティ] の [タイトル位置] 設定) または
書類の作成に使用された製図法の再定義 ([仕上げ] - [折る] - [描画方法])
- [用紙のサイズ] の変更

も参照してください。 [書類を折るための準備 \(93 ページ\)](#)

プリント領域を変更する必要がある

プリント領域の定義を変更するために、直前の Océ WPD2 のウィンドウ ([プロパティ] ウィンドウ) に戻る必要があります。

現在の [Océ プレビュー] ウィンドウを閉じます。アプリケーションから、「Print」ウィンドウで「Properties」ボタンをクリックします。

も参照してください。 [Océ WPD2 のインターフェース \(14 ページ\)](#)

イメージの解像度が正しくない

プリントファイルの解像度を変更するために、直前の Océ WPD2 のウィンドウ ([プロパティ] ウィンドウ) に戻る必要があります。

現在の [Océ プレビュー] ウィンドウを閉じます。アプリケーションから、「Print」ウィンドウで「Properties」ボタンをクリックします。

も参照してください。 [Océ WPD2 のインターフェース \(14 ページ\)](#)

テンプレート リストが削除された

テンプレート リストにアクセスするために、直前の Océ WPD2 のウィンドウ ([プロパティ] ウィンドウ) に戻る必要があります。

現在の [Océ プレビュー] ウィンドウを閉じます。アプリケーションから、「Print」ウィンドウで「Properties」ボタンをクリックします。

も参照してください。 [Océ WPD2 のインターフェース \(14 ページ\)](#)

プリント排紙の整理

文書のプリント結果の管理

目的

プリントされたページの排紙方法を定義することができます:

- 複数の文書をプリントするとき
- または、文書が複数の部数必要なとき

次の手順では、プリント後に文書のページを並べ替えることはできません。

使用する場合

文書をプリンタに送信する前。

手順

1. アプリケーションから直接部数を定義することをお勧めします。



メモ

一部のアプリケーションには制限があり、プリンタドライバから定義された部数は取得されません。たとえば、AutoCAD および MS Office アプリケーションなどがその例です。

2. 複数の部数が必要な場合、[丁合い] 設定を使用して、その排紙方法を指定することができます。(アプリケーションまたは Océ WPD2 [プロパティ] ウィンドウから部数を定義することができます)

オプション	説明
[オン (セットごとのソート)]	すべてのページがそろった文書が 1 部ずつプリントされます (1234、1234、1234、1234)。
[オフ (ページごとのソート)]	文書の最初のページが指定された部数プリントされます。次に、2 番目のページが指定された部数プリントされます。同様に、文書の最後のページまでプリントされます (1111、2222、3333、4444)。

複数の部数の取得方法の定義

手順

1. 文書が複数の部数必要な場合、取得する順序を定義することができます。
2. Océ WPD2 [プロパティ] ウィンドウから、[ページ順序] 機能を選択します。

オプション	説明
[前から後ろ]	1 ページが先頭になるよう文書をプリントします。
[後ろから前]	1 ページが末尾になるよう文書をプリントします。

3. 次に、[丁合い] 機能の値を確認します。

文書の排紙先の定義

はじめに

プリント ジョブに可能な排紙先は複数あります。使用可能な排紙先は、プリンタ モデルによって異なります。

Océ WPD2 から、[保存先] 設定で文書の排紙先を定義します。

排紙先は以下のいずれかとして定義できます:

- プリンタ コントローラ上の [Smart Inbox] (Océ Express WebTools からアクセス)
- [ダイレクト プリント] オプション。文書を直接プリントできます
- [インボックスへ] という名前のインボックス保存先。プリンタのジョブ キューにあります (Océ Print Exec Workgroup からアクセス)。

定義

プリント済みの文書を収集する場所を指定するために、[保存先] 設定を使用します。

文書を直接プリントできます。この場合、[ダイレクト プリント] チェックボックスを有効にする必要があります。

また、文書を後でプリントすることもできます。この場合、プリンタ コントロール上の専用のレポジトリにプリント ジョブが格納されます。

[保存先] オプション

[Smart Inbox] オプションと [インボックスへ] オプションのどちらを使用した方が有益であるかは、プリンタ モデルによって異なります。

プリント ジョブ インボックスの容量についての詳細は、それぞれのセクションを参照してください:

- [Smart Inbox \(保存先\) \(75 ページ\)](#)
- [インボックスへ \(保存先\) \(73 ページ\)](#)



メモ

一部の Océ プリンタ モデル (例 Océ TDS320 および Océ TCS300) では、[ダイレクト プリント] オプションのみが使用可能です。この場合、[保存先] タイルはグレイ表示されます。

[インボックスへ]

はじめに

[インボックスへ] オプションは、次のものに関連付けられています。

- [ダイレクト プリント] 設定 (プリント システムの管理者の選択によっては、ユーザーが設定を有効にすることができます)。どちらの設定も相互に排他的です。
- プリント ジョブ送信ツールへのハイパーリンク Océ Print Exec Workgroup (プリンタ情報の取得が有効のとき)。このリンクを使用すると、主にプリント システムの詳細情報にアクセスできます。ただし、ユーザーのジョブ キューの内容も表示できます ([インボックスへ])。ハイパーリンクは、Océ WPD2 の [プリンタ情報] エリアからも使用できます。

Océ WPD2 の [インボックスへ]

[インボックスへ] 設定は [保存先] タイルをクリックして有効にすることができます。このオプションには、次の 2 つの値のみを設定することができます。

- [インボックスへ] オプションの有効化。この場合、ユーザーの Océ Print Exec Workgroup アプリケーションのインボックスにプリント ジョブが送信されます。次に、ジョブをプリントする際、Océ Print Exec Workgroup インターフェースに移動する必要があります。

- [インボックスへ] オプションの無効化。この場合、[保存先] 設定の値が [ダイレクト プリント] に設定されます。プリント ジョブは直接プリントされます。これはプリンタのジョブ キューに格納されません。

[Smart Inbox]

はじめに

[Smart Inbox] は、次のものに関連付けられています。

- 名前 (使用するプリンタ モデルに合わせて変更することができます)
- [ダイレクト プリント] 設定 (プリント システムの管理者の選択によっては、ユーザーが設定を有効にすることができます)。
- プリンタ コントローラへのハイパーリンク ([Smart Inbox] の内容を表示するため、[プリンタ情報] エリアから使用できます)。

定義

[Smart Inbox] は、プリンタ コントローラ上のスペースで、ここに文書を格納できます。

この動作は、システム管理者の選択によって異なります。プリント システム管理者は、プリンタ コントローラから [Smart Inbox] の動作を管理します。

Océ WPD2 での [Smart Inbox]

次の表は、Océ WPD2 での [Smart Inbox] オプションをユーザーがどのように使用できるのかを説明しています。



メモ

この設定がグレイ表示されている場合は、プリント システム管理者にお問い合わせください。

目的	アクション	注意事項
文書を [Smart Inbox] および、ダイレクト プリント用のプリンタ キューに送信します。  メモ これはデフォルトの動作です。	[ダイレクト プリント] オプションを有効化するには、[保存先] タイルをクリックします。	文書は直接プリントされます。文書のコピーが [Smart Inbox] に格納されます。プリンタ コントローラから文書を表示、管理および/または削除できます。  メモ 十分な権限が割り当てられていない場合は、プリント システム管理者にお問い合わせください。
文書を [Smart Inbox] に送信しますが、直接はプリントしません。	[ダイレクト プリント] オプションを削除するには、[保存先] タイルをクリックします。	文書が [Smart Inbox] に格納されます。プリンタ コントローラから文書を表示、管理および/または削除できます。  メモ 十分な権限が割り当てられていない場合は、プリント システム管理者にお問い合わせください。

「Destination」名の変更

[Smart Inbox]名

プリンタ モデルに応じて、[Smart Inbox] 名が固定されているか、自由に指定できます。

操作の内容	結果
[Smart Inbox] 名は固定されています	[Smart Inbox] 名はユーザー ログインとなります
[Smart Inbox] 名を自由に指定できます	20 文字までのテキストを入力できます。 デフォルトでは、[Smart Inbox] 名はユーザー ログインとなります。  メモ 各ユーザーは、ドロップダウンリストから、最近使用された 10 [Smart Inbox] 個の名前の履歴にアクセスできます。

出力の排紙先の定義

目的

プリンタにはいくつかの排紙先があります。Océ WPD2 から、最も条件に合った排紙先を選択します:

- プリントの必要性
- プリンタの構成



メモ

使用する用紙が選択した排紙先には対応していない可能性があります。この場合、エラーメッセージが表示されます。次の手順を使用して、別の排紙先を選択します。

使用する場合

文書をプリンタに送信する前。

始める前に

実行中のアプリケーションから、Océ WPD2 を開きます。

以下のセクションを参照してください: [アプリケーションからアクセスするには \(60 ページ\)](#)

手順

1. [仕上げ] タイルまたは [プリント排紙] 設定から、出力の収集先を指定します。
2. 文書をプリンタに送信する準備ができたなら、[OK] をクリックします。

上部排紙トレイ

定義

[上部排紙トレイ] は上部排紙先です。

使用可能かどうかは、プリンタ モデルによって異なります。



メモ

用紙の種類によっては、フィニッシャとして [上部排紙トレイ] を選択できません (例: 普通非コート紙 120-160g、トランスペアレント 75-100g など)。

[統合排紙トレイ]

[統合排紙トレイ] 仕上げオプションは、[上部排紙トレイ] に名前が変更されました。

背面出力

定義

[背面出力] は、プリンタの背面にある汎用の排紙先です。

使用可能かどうかは、プリンタ モデルによって異なります。

プロパティ

[背面出力] はそのまま使用できます。

特別な (多くの場合はオプションの) フィニッシャを [背面出力] に接続することもできます。

(例)

- back delivery basket
- 出力スタッカ ([Océ Double Decker Pro] など)
- folder
- [Océ 排紙トレイ] ([コピー排紙トレイ] と呼ばれることもあります)。

この場合、[仕上げ] タイルに、プリントシステムに設定されているオプションのフィニッシャの名前が表示されます。

この出力は、プリント システムでフィニッシャが認識されない場合またはフィニッシャが統合されている場合に特に便利です。

(例) [デバイス設定] ページで指定できないスタンドアロン型折り機が用意されている場合。

下部排紙トレイ

定義

[下部排紙トレイ] は、プリンタの正面にある汎用の排紙先です。
使用可能かどうかは、プリンタ モデルによって異なります。

属性

- [下部排紙トレイ] は、常に選択可能です。
- [下部排紙トレイ] は、[折り機] と関連付けできません。

外部出力

定義

使用可能な [外部出力] は、プリンタのモデルによって異なります。

プロパティ

[外部出力] はプリンタ ドライバで自動的に使用可能になります。

[外部出力] は下部出力です。プリンタの背面にオプションの「排紙ラック」を取り付け、プリント出力を排紙できます。

[Océ Double Decker Pro]

定義

[Océ Double Decker Pro] ([2 トレイ スタッカ] と呼ばれる場合もあります) には、最大 1 500 シートを排紙可能な 2 つのトレイが付属しています。

プロパティ

プリンタ コントローラ (および [デバイス設定] ウィンドウ) でアクティブに設定されている場合のみ、[Océ Double Decker Pro] を選択できます。

[Océ Double Decker Pro] は [Océ 排紙トレイ] または [折り機] とは関連付けられません。

出力を折る

はじめに

出力を折るには、プリントシステムに外部折り機を接続する必要があります。

完全統合型折り機が用意されている



メモ

折り機を完全に統合できるのは、一部の Océ プリンタのみです。完全統合型は、プリンタ コントローラから **折りテンプレート** を取得可能であることを意味します。

プリントシステムに統合型折り機が用意されている場合、プリンタ コントローラ上でプリントシステムの管理者によって定義された折りテンプレートを取得できます。

[フォールド テンプレート] は、Océ WPD2 での [仕上げ] プリセットとして表示されます。

手順	アクション
1	[仕上げ] タイルを選択します。
2	折りプリセットを選択します。 プリセットの名前は、プリントシステムの管理者によって折りテンプレートに定義された名前と同一です。  メモ [折り] タイル (Océ WPD2 拡張インターフェース) から折り計画を定義することもできます。



メモ

また、次も推奨されます。

- 専用の [レイアウト] プリセットの選択： [折りのための最適化]、
- 該当する場合、書類内のタイトルの位置の指定 ([凡例を配置する \(94 ページ\)](#) を参照)。

オンライン折り機が用意されている

オンライン折り機が用意されている場合、プリンタ ドライバまたはプリンタ コントローラから折りパッケージを定義できます。

手順	アクション
1	Océ WPD2 インターフェースを拡張します。
2	[折り] タイルを選択します。 次のウィンドウが開きます。
3	[折る] 設定の横にチェックマークを入れます。
4	折りパッケージを定義します。以下のセクションを参照してください: 折り設定 (96 ページ) [折り] ウィンドウの図が自動的に調整され、定義した折りパッケージが反映されます。



メモ

[Océ プレビュー] インターフェースから、予測されるプリント結果を確認することをお勧めします。実際には、[Océ プレビュー] から、折りのためにタイトルが正しく位置合わせされているかどうかを確認できます。

以下のセクションを参照してください: [折りのためのタイトル位置の確認 \(99 ページ\)](#)

スタンドアロン型折り機が用意されている

スタンドアロン型折り機が用意されている場合、プリント システムからは折り機能の有効化または無効化のみを実行できます。

手順

1. [折り] タイルをクリックして、出力を折り機に排紙するかどうか指定します。プリンタの機能によっては、[折り] タイルを使用できない場合もあります。

第6章

Océ WPD2 の高度な使用

プリント文書のサイズの指定

原稿文書のサイズの確認

目的

次の手順は、以下の目的に役立ちます:

- 文書に適切なページサイズが選択されていることを確認すること
- 文書のクリッピングを防ぐこと
- 用紙を節約するために文書をスケールすること

始める前に

実行中のアプリケーションから、Océ WPD2 を開きます。

以下のセクションを参照してください: [アプリケーションからアクセスするには \(60 ページ\)](#)

手順

1. [アプリケーションに従ったページ] 設定の値を確認します。アプリケーションと同じ値にする必要があります。
2. 正しくない場合、[アプリケーションに従ったページ] をクリックして、ページサイズリストを開きます。
3. リストから正しいサイズを選択します:

原稿文書のサイズ	対処法
標準サイズ	正しいサイズが見つかるまでリストをスクロールします
プリンタ ドライバから作成したカスタム サイズ	リストを下までスクロールします。カスタム サイズはリストの末尾にあります。
アプリケーションから作成したカスタム サイズ	リストを下までスクロールします。このカスタム サイズには、[ユーザ定義のサイズ] という名前が付けられています。



メモ

ページサイズのリストでは、ページ方向が考慮されます ([横長] または [縦長])。ページサイズ値の横にあるアイコンがページ方向を表しています。

用紙での文書のサイズの定義

手順

1. [表示数を増やす] をクリックして、プリンタ ドライバインターフェースを展開します。
2. [スケール] 設定を開き、用紙での文書のサイズを指定します。
3. 目的に合わせて値を選択します:

状況	対処法
選択した用紙に文書を合わせる場合	[自動 (用紙サイズに合わせる)] を選択します
文書のオリジナルのサイズを維持する場合	[100%] を選択します

状況	対処法
特定のスケール倍率を指定する場合	[カスタム スケール] フィールドに目的の値を入力します

4. 確認して、[OK] をクリックします。

カット方法の定義

手順

1. [表示数を増やす] をクリックして、プリンタ ドライバ インターフェースを展開します。
2. [カット サイズ] 設定を選択します。
3. カット方法を [シンクロ] として定義します。

出力を文書でインクが使用される内容に制限

手順

1. [プリント範囲] リンクをクリックして、対応するウィンドウを開きます。
2. 以下の値を選択します。
 - [プリンタ余白をアプリケーションに考慮させますか?]: [はい]
 - [内容の周囲の白色の領域を削除しますか?]: [はい]



メモ

プリンタ モデルに応じて、質問に回答することもできます。[境界内の内容を保持しますか?][はい]に回答する場合 (たとえば、枠にコーナー マークがある場合など)、選択した用紙が希望に合っているかを確認します。[用紙のサイズ] を自動値に設定する場合、必要なコンテンツがすべてプリントされるように、用紙はより大きな用紙に変わります。

3. 確認して、[OK] をクリックします。
文書でインクが使用される部分のみが用紙にプリントされます。



重要

使用するアプリケーションがオリジナルのファイルにラスタ情報を作成する場合、リンクされたコンテンツへの制限はしばしば不可能になります。たとえば、次のような場合がその例です。

- AutoCAD で、トランスペアレント設定が有効にされている場合。
- Revit で、アプリケーションが文書内にラスタデータを作成する場合 (埋め込み画像またはシェード カラーに対して)。

これらの場合には、リンクされたコンテンツへのプリントアウトを制限するため、カスタムのページ サイズを作成することをお勧めします。プリントしたいコンテンツのサイズに類似したサイズのカスタム ページ サイズを作成します。

プリント出力用紙の使用の指定

プリントに使用する用紙の定義

目的

次の手順は、以下の目的に役立ちます:

- プリント用に正しい用紙を選択すること
- 使用可能な用紙を選択してプリント時間を最適化すること
- 用紙の使用を最適化すること

始める前に

実行中のアプリケーションから、Océ WPD2 を開きます。

以下のセクションを参照してください: [アプリケーションからアクセスするには \(60 ページ\)](#)

手順

1. [表示数を増やす] をクリックして、プリンタ ドライバ インターフェースを展開します。
2. 目的に合わせて [用紙] 設定を選択します。

プリントに使用する用紙	対処法
既にプリンタに取り付けられている用紙	1. [用紙ソース] 設定を選択します。 2. 使用するロールを選択します。 選択した用紙に合わせて、[用紙のサイズ] および [用紙の種類] 設定が自動的に調整されます。
文書に最適な用紙	1. [用紙のサイズ] 設定を選択します。 2. [セットされている任意のサイズ] に設定します。 選択内容に合わせて [用紙ソース] 設定が自動的に調整され、[自動] に設定されます。
特定の用紙サイズ	1. [用紙のサイズ] 設定を選択します。 2. 目的の用紙サイズを選択します。
特定の用紙の種類	1. [用紙の種類] 設定を選択します。 2. プリントに使用する用紙の種類を選択します。

終わった後に

Océ ColorWave および Océ PlotWave プリンタ モデル*では、[用紙のサイズ] リストおよび [用紙の種類] リストはダイナミックです。使用できる値は、Océ Express WebTools で作成された用紙定義から得られます。リストを拡張したり希望に合わせてするには、プリント システムのキオスクに連絡し、次のことを依頼します。

- 新規の [用紙の種類] 値のインストールまたは作成、あるいは
- 新規の [用紙のサイズ] 値の作成。

*Océ ColorWave 300 および Océ PlotWave 750/900 システムを除く

カット方法の定義

手順

1. [表示数を増やす] をクリックして、プリンタ ドライバ インターフェースを展開します。

2. [カット サイズ] 設定を選択します。
3. カット方法の定義:
 - 選択された用紙サイズに応じてプリントがカットされます。
 - イメージのサイズに応じてプリントがカットされます。プリンタのモデルによって異なりますが、カット長には最小値があります。
 - 必要な「[カットの長さ]」値を入力して、独自のカット サイズを定義できます。

用紙での文書の位置決め

定義

[配置] 設定を使用して、用紙での文書の配置方法を定義します。

ここで説明するプリント設定は、文書に特定の仕上げが必要な場合に特に役立ちます。

たとえば:

- 文書を折る場合、
- バインダーに保管する場合、
- 注釈を付ける場合。

始める前に

Océ WPD2 を開きます。

以下のセクションを参照してください: [アプリケーションからアクセスするには \(60 ページ\)](#)

[アラインメント]

[アラインメント] 設定を使用して、ページ上での文書の位置を調整します。

[シフト]

[シフト] 設定を使用して、ページ上でのイメージの位置をシフトします。[シフト] は、自動シフトの実行後に適用されます。

用紙上の描画の位置を変更する必要がある場合は、2 種類のシフトを適用できます。次の操作を実行できます:

- イメージの水平シフト
- イメージの垂直シフト

フィールドに値を入力します。

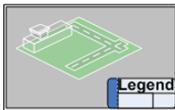
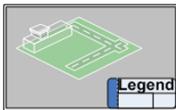
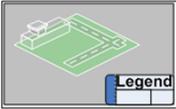
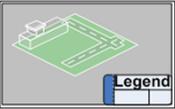
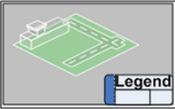
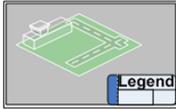
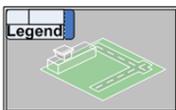
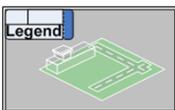
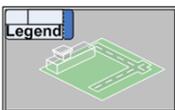
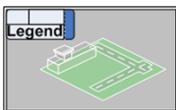
- 負の値を入力すると、イメージが上にシフトします。
- 正の値を入力すると、イメージが下にシフトします。

書類を折る

書類を折るための準備

使用する場合

折る書類を作成するときは、規格に従って準備することをお勧めします。次の図は、既存の規格に従ったときに、技術書類上にタイトルが配置される位置を示しています。Océ WPD2 は、次の規格で動作します: [DIN], [AFNOR]および [ERICSSON]。

用紙サイズ					描画方法
S0	S1	S2	S3	S4	
					AFNOR
					DIN
					ERICSSON

Paper size	Media size				
	ARCH	ANSI	ISO A	ISO B	Japanese sizes
S0	E+, E1	E	A0	B1, Carto B1	880mm, 800mm
S1	D+	D	A1	B2, Carto B2	660mm
S2	C+	C	A2	.	440mm
S3	B+	B	A3	.	.
S4	A+	A	A4	.	.

手順

1. 必要に応じて、タイトルが書類上のどこに配置されるかを確認します。
2. タイトル位置を、上図のいずれかの規格に関連付けます。
3. [折る]タイトルから、書類に対応する [描画方法] を選択します。
Océ WPD2 は、最適な折りを行うために (折りパッケージの上部にタイトルが表示されるように) 書類を回転して位置合わせします。

折りの出力をする文書を用紙に配置します。

折りの出力をする文書を用紙に配置します。

始める前に

折り関連の設定を表示するには、プリントシステム内で [折り機] フィニッシャが設定されていることを確認します (「[デバイス構成 \(40 ページ\)](#)」を参照)。

使用する場合

折りの出力をする文書を用紙に正しく配置するには、特定のプリント設定を使用することをお勧めします。

手順

1. [仕上げ] タイルから、使用する折り手順に対応する [折る] プリセットを選択します。使用するプリントシステムに応じて、完全統合型折り機を使用できます。この場合、プリントシステム管理者が定義した折りプログラムを使用できます。オンライン折り機またはスタンドアロン型折り機が用意されている場合、「Fold」プリセットのみを選択できます。結果:
 - オンライン折り機の場合、折りパッケージを定義することもできます (「[折り設定 \(96 ページ\)](#)」を参照)。
 - スタンドアロン型折り機の場合、折りパッケージを折り機で直接定義します。
2. [レイアウト] タイルから、[折りのための最適化] プリセットを選択します。
3. [タイトル] ハイパーリンクをクリックして、[タイトル位置] ウィンドウを開きます。文書の凡例の位置を示します。完全な手順については、「[凡例を配置する \(94 ページ\)](#)」を参照してください。

結果

プリンタドライバは、凡例が折られたパッケージの上部にくるように文書を回転させて調整します。

文書をプリントする前に、[Océ プレビュー] ウィンドウからこの位置を確認したり編集したりすることもできます。

タイトルの位置合わせ

使用する場合

書類内でタイトル位置を指定します。この情報は、書類を折るための準備に使用されます。

折りパッケージの上部にタイトルを配置することがこの目的です。



メモ

この設定が使用可能かどうかは、プリンタモデルによって異なります。

手順

1. [タイトル] ハイパーリンクをクリックして、[タイトル] ウィンドウを開きます。
2. 書類にタイトルが存在することを指定するには、チェックボックスにチェックマークを付けます。
3. 図 ([タイトル位置]) で、書類上でのタイトルの位置に対応する角をクリックします。
4. 確認して、[OK] をクリックします。

結果

ハイパーリンクのテキストが更新されます。タイトルに選択した位置が表示されます。

タイトルの位置は、[Océ プレビュー] インターフェースからも確認できます (「[折りのためのタイトル位置の確認 \(99 ページ\)](#)」を参照)。



メモ

以下の場合には [タイトル] ボックスにチェックマークを付けないでください。

- タイトルの位置を無視する場合
- 書類内にタイトルが存在しない場合

この場合、ハイパーリンクのテキストに [該当なし] と表示されます。

折り定義

目的

一部の折り機モデルは、プリントシステムに統合されています。そのような場合は、プリントアプリケーション内からすべての折りオプションを構成することができます。

以下の手順について参照してください:

- 折りパッケージの調整、
- 折り定義の選択、
- パッケージサイズの指定。



メモ

折り機が統合型でない場合は、次の方法を使用します:

- 折り機を排紙先として指定します
- 折りパッケージの上になるタイトル位置を指定します

折り設定の指定

折り機をプリント出力の排紙先として設定します。

[折る] 設定の前にチェックマークを入れます。

[描画方法]

定義

文書の作成に使用した描画方式を選択します。

- [DIN]
- [ERICSSON]
- [AFNOR]



メモ

も参照してください。 [書類を折るための準備 \(93 ページ\)](#)

[折りパッケージ]

はじめに

[折りパッケージ] 設定を使用して、折りの目的を表します。この設定の値は、折り機の構成によって異なります。

[ファン+クロス折り]

印刷出力は完全に折られ、スタッカまたはベルトユニットに排出されます。

[ファン折りのみ]

印刷は 1 方向のみに折られ、折り機ユニットから排出されます。

このオプションは長尺印刷に適しています。

折りパッケージサイズ

定義

折りパッケージの寸法は、次のように指定することができます：

[パッケージ幅]

このフィールドを使用して、186 mm (7.3 インチ) から 230 mm (8.5 インチ) の範囲で折りパケットの幅を入力します。

[パッケージ長]

このフィールドを使用して、276 mm (10.9 インチ) から 310 mm (12.2 インチ) の範囲で折りパケットの長さを入力します。



メモ
範囲外の値が入力された場合、ソフトウェアは限界値を使用します。

[パッケージ仕上げ]

定義

[バインドエッジ]	[パンチ済みのとじしろ]	[拡張ストリップ]
		
[バインドエッジ]とは、折られたプリントアウトにパンチ穴またはタブを作成するための追加余白です。	[パンチ済みのとじしろ]とは [バインドエッジ] と類似していますが、プリントシステムが [パンチユニット] と関連付けられていることを示します。	[拡張ストリップ]とは、(折り機により) 仕上げ段階で追加される、折りパッケージより小さい追加テープです。通常は、あらかじめパンチ穴が開けられた粘着テープです。主に保管目的で使用されます (バインダーへの保管など)。

[パッケージ仕上げ] 設定の指定

折りパッケージに [パッケージ仕上げ] を使用するかどうか指定します。

[バインドエッジ] または [パンチ済みのとじしろ] が必要な場合は、[バインドエッジサイズ] 設定を使用して必要な余白サイズを指定します。

次のことも可能です。

- 折りシステムの機能に応じて、[拡張ストリップ] を使用するかどうか指定します。
- たとえば、プリンタコントローラで設定された値をバイパスするために、余白を強制的に削除します。この場合、値を選択します: [なし]。



メモ
この設定を使用できるかどうかは、[折りの定義]、および折りシステムの構成によって決まります。



重要
[バインドエッジ]、[パンチ済みのとじしろ] および [拡張ストリップ] は相互に排他的です。

依存関係

次の表は、書類の作成に使用された規格に応じて選択できる仕上げオプションを示しています。

[描画方法]	[バインドエッジ]	[パンチ済みのとじしろ]	[拡張ストリップ]
[DIN]	はい	はい [折りパッケージ]を[フル折り]に設定すること	はい [折りパッケージ]を[フル折り]に設定すること
[AFNOR]	はい	はい [折りパッケージ]を[フル折り]に設定すること	いいえ
[ERICSSON]	はい	いいえ	いいえ

[パッケージ排紙]

折りパッケージを排出するデポジットを選択できます。

- [スタッカ]
- [Belt (ベルト)]



メモ

排出ユニットを使用できるかどうかは、折り機の構成、および折り定義によって決まります。

折りのためのタイトル位置の確認

始める前に

プリントするために書類を送信しました。この書類を折ります。[Océ プレビュー] が開きます。
[仕上げ] 設定を [折る] に設定します。

使用する場合

書類のタイトルが折りアクションのために正しく位置合わせされていることを確認します。予測される折りパッケージの上部を可視化するには、[Océ プレビュー] を使用します。

「青色の三角形」の概念

書類をオンライン折り機または統合型折り機に送信すると、青色の三角形が、予測されるプリント結果の上に重なって表示されます。青色の三角形は、折りパッケージの上部が配置されると予測される位置を示しています。

この三角形は、書類のタイトルの上に重なって表示される必要があります。これは、タイトルが折りのために正しく位置合わせされていることを示しています。

手順

- 青色の三角形が書類のタイトルの上に重なって表示されていることを確認します。
このマニュアルのガイドラインに従って書類を折るための準備を行った場合は、そのようになっているはずですが、この状態で、プリントできます。
以下のセクションを参照してください: 「[書類を折るための準備 \(93 ページ\)](#)」
- タイトルが正しく位置合わせされていない場合、[レイアウト] 設定 ([回転] および/または [配置]) を変更できます。

[配置] 設定を変更します。

折り機の種類	[配置] の推奨設定
統合型折り機 (Océ 4311 fullfold series と Océ ColorWave 650 プリントシステムの組み合わせなど)	望ましい設定の定義: [自動シフト] = [右上] この場合、実際には、プレビューの右側が折りパッケージの上部に対応しています。
オンライン折り機 (Océ PlotWave 750 折り機と Océ PlotWave 750 プリントシステムの組み合わせなど)	望ましい設定の定義: [自動シフト] = [左下] (一般的な場合) または [左上] (特別な場合: A0 AFNOR など)

- また、その他のプリント設定を変更することもできます。

折り機の種類	推奨される設定変更
統合型折り機	<ul style="list-style-type: none"> 折りパッケージの上部の再定義 (直前のウィンドウ - Océ WPD2 [タイトル位置] の [プロパティ] 設定) [用紙] 設定の変更
オンライン折り機	<ul style="list-style-type: none"> 予測される書類のタイトル位置の再定義 ([折る] タイル - [折りの定義] - [描画方法]) 実際には、タイトルの位置は、技術書類の作成に使用された規格によって異なります。 [用紙] 設定の変更

文書にスタンプを適用する

はじめに

Océ ワイド フォーマット プリンタでプリントする場合、文書の境界内または境界外で、出力にスタンプを定義、作成および適用することができます。

[スタンピング] ウィンドウを開いて以下のものを定義するには、[スタンピング] タイルをクリックします:

- [スタンプ位置]
- [スタンプ テキスト]

[スタンピング] タイルがグレイ表示され、編集できなくなっている場合、スタンプはプリンタ ドライバから送信された文書で必須であることを意味します。プリント システムの管理者とスタンピング ストラテジーを確認してください。管理者権限を持つユーザーのみがスタンピング ストラテジーを定義したり変更したりできます。詳細については、[スタンピング ストラテジーの定義 \(101 ページ\)](#)。



メモ

[プリント範囲] 設定では、[スタンピング] 機能を使用することができません。スタンプを適用するには、ページの内容全体をプリントする必要があります。文書のインク領域のみをプリントして、その文書にスタンプを適用したい場合、スタンプの位置を「境界内」に定義します。



メモ

Océ WPD2 「プリント プリファレンス」ウィンドウまたは Océ WPD2 [プロパティ] ウィンドウからスタンプを指定し、適用することができます。

[スタンピング] 機能は、[Océ プレビュー] ウィンドウから利用することはできません。



メモ

Océ ColorWave 9000 のスタンプは使用できません。

[スタンピング] 機能

- 文書に適用可能なスタンプは 1 つだけです。
- 出力のすべてのページに同じスタンプが適用されます (最初のページだけではありません)。
- テンプレートまたはプリセットにスタンプを格納することができます。
- スタンプがスケールされることはありません。
- [スタンプ位置] はグラフィック データに対して相対的に決定されます ([左上 - 境界内] など)。文書が回転される場合 ([回転] が [90°] に設定されている場合など)、グラフィック データの上部に配置されるようにスタンプも回転に追従します。

スタンプの定義

スタンプ定義

<p>ステップ	アクション
1	[スタンピング] タイルを開きます。
2	[スタンプ選択] を指定します。 [オフ] に設定されている場合、すべてのフィールドはグレーで、タイルは [スタンプなし] を表示します。

<p>ステップ	アクション
3	<p>[スタンプ位置] を指定します。</p> <p> メモ スタンプを「境界外」に配置する場合、追加の余白を含むようページサイズが拡大されます。この追加余白によりページ方向が変化したり、用紙選択に影響が生じる場合があります。</p> <p> メモ ご使用のプリンタ モデル (A0 または 42") によってサポートされている最大ページサイズ以上の文書にスタンプを適用することができます。この場合、プリンタドライバはスタンプの位置を調整します。スタンプはプリントアウトの短い辺に印刷されます。 この動作によって、定義した用紙選択に対する変更は発生しません。また、この動作によって、プリント出力上のすべての内容を維持することも可能になります (クリップなし)。この結果、たとえば、スタンプの位置が「境界外の左上」ではなく「境界外の右」になることがあります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">A0</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">A0+++</div> </div> <p>[12] 例: A0 のページサイズや長いカスタム ページサイズで可能性がある「境界外」のスタンプ位置</p>
4	<p>[スタンプ テキスト] を指定します。 スタンプには、フリー テキスト (256 文字以内) および事前定義された変数を自由に組み合わせ使用できます。生成されるスタンプは、1 行になります。</p>
5	<p>スタンプのフォントおよびサイズを定義します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Arial、または Arial WGL：ラテン文字の場合 • MS Gothic、または Heisei Kaku Gothic：日本語の文字の場合 • SimSun、または Sung Light GB 18030：中国語の文字の場合 • Gulim、または Hangul Round Gothic Medium：韓国語の文字の場合 <p> メモ スタンプの色は黒 (RGB(0,0,0)) です。</p>
6	<p>[フォント カラー] を指定します。 ドロップダウンリストからグレースケール値を選択 (ブラック、グレー、ダークグレー、またはライトグレー) します。</p> <p> メモ この設定は、Océ ColorWave 300/ 500/ 700/ 3500/ 3700 および Océ PlotWave プリンタで使用できます。</p>

スタンプングストラテジーの定義

はじめに

管理者プロファイルを持つユーザーのみがスタンプングストラテジーを定義することができます。一度定義すると、そのスタンプングが、プリンタドライバのクライアントバージョンおよび同じワークステーションのすべてのユーザーに適用されます。

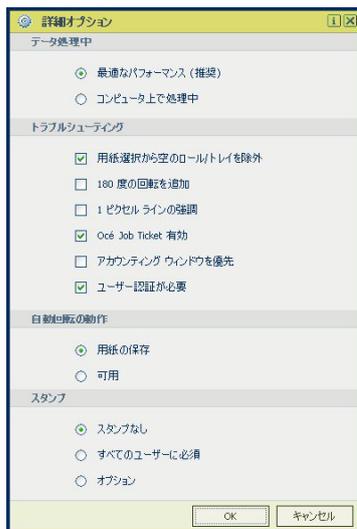


メモ
Océ ColorWave 9000 のスタンプは使用できません。

[スタンプング]ストラテジーの値

Océ WPD2 ユーザーに提供する場合、スタンプは [オプション] または [すべてのユーザーに必須] にすることができます。

Océ WPD2 のユーザーに対して使用できる [スタンプング] タイルがない場合、プリント システムの管理者がスタンプングの使用を禁止したことを意味します。



手順

1. 管理者のプロファイルを使用して、[オプション]→[詳細オプション] メニューに移動し、[スタンプング] ストラテジーを定義します。
2. 次の表に従って値の 1 つを選択します。

[スタンプング] 値	説明
[スタンプなし]	[スタンプング] 機能が無効になります。 プリンタ ドライバ インターフェースから、プリント システムの管理者には、[スタンプング] タイルに値 [スタンプなし] が表示されます。 プリンタ ドライバ ユーザーには [スタンプング] タイルは表示されません。

[スタンプング] 値	説明
[すべてのユーザーに必須]	<p>[スタンプング] はプリンタ ドライバのすべてのユーザーに必須です。</p> <p>プリント システムの管理者は、プリンタ ドライバを通じて送信される各ページに適用されるスタンプを定義する必要があります。以下のセクションを参照してください: 文書にスタンプを適用する (100 ページ)。</p> <p>プリンタ ドライバユーザーは、[スタンプング] タイルは表示されますが、詳細設定にアクセスすることはできません。タイルはグレイ表示され、スタンプが印刷される場所のみを指定します。</p>
[オプション]	<p>プリント システムの管理者は、スタンプを適用するかどうかをユーザーに決定させることができます。</p> <p>プリンタ ドライバユーザーは [スタンプング] タイルを表示できます。プリンタ ドライバユーザーは詳細なスタンプ設定を定義できます。以下のセクションを参照してください: 文書にスタンプを適用する (100 ページ)。</p>

終わった後に

ストラテジーは、プリンタ ドライバの次回起動時に適用されます。

用紙節約 - 用紙の使用を最適化する

目的

環境保護や紙の無駄に関心がある場合、次の手順が用紙の節約に役立ちます。

始める前に

ワークステーションのプリンタ ページから Océ WPD2 を開きます。

以下のセクションを参照してください: [アプリケーションからアクセスするには \(60 ページ\)](#)

手順

1. [表示数を増やす] をクリックして、プリンタ ドライバ インターフェースを展開します。
2. [回転] 設定を選択します。
3. [自動] に設定します。
選択した用紙に合わせて、文書が自動的に回転されます。



メモ

白黒プリンタモデルでは、自動回転の動作の定義が [用紙節約] に設定されていることを確認します。以下のセクションを参照してください: [自動回転の動作を定義します \(104 ページ\)](#)。

4. [カット サイズ] 設定を選択します。
5. [シンクロ] 方法に設定します。
文書に最適なサイズに用紙が自動的にカットされます。
6. [プリント範囲] 設定を選択します。
7. 以下の値を選択します。
 - [プリンタ余白をアプリケーションに考慮させますか?]: [はい]
 - [内容の周囲の白色の領域を削除しますか?]: [はい]確認して、[OK] をクリックします。
文書でインクが使用される部分のみが用紙にプリントされます。
8. これらのプリント設定をプリンタのデフォルト値にするか確認して、[OK] をクリックします。

[自動回転の動作] の定義

定義

[オプション]→[詳細オプション] メニューに移動し、[自動回転の動作] 設定を定義します。この機能を使用して、値が [自動] に設定されているときの [回転] 設定のデフォルトの動作を定義します。2つの選択肢があります。

[用紙セーブ]

描画の形状に応じて自動的にデータの方向を変更し、用紙の使用を最小化することができます。

[自動回転] (白黒プリンタのみ)

生産性を最適化します。出力を最も高速に排紙できるよう、データの方向が自動的に変更されます。

プリント品質の定義

目的

プリントする文書に合わせて、最終的な出力の品質を調整することができます。

次の手順は、以下の目的に役立ちます:

- トナーの使用を減らし、プリント速度を向上させること (たとえば、プリントする内容が少ない文書またはドラフト文書)
- 文書の品質を向上させます (たとえば、図やイラストを含む文書)

始める前に

以下の場所から Océ WPD2 を開きます。

- 特定の文書のプリント品質を定義する場合、実行中のアプリケーションから (Océ WPD2[プロパティ] ウィンドウ)
- プリント品質のデフォルト値を定義する場合、ワークステーションのプリンタ ページから (Océ WPD2 プリント プリファレンス ウィンドウ)
[アプリケーションからアクセスするには \(60 ページ\)](#) を参照してください。

手順

1. [表示数を増やす] をクリックして、プリンタ ドライバ インターフェースを展開します。
2. [品質] 機能から、品質モードを定義します。
異なる品質モードについては、次を参照してください。 [WPD2 で使用できる品質モード \(105 ページ\)](#)
3. [プリントファイルの解像度] を指定します。
 - 標準品質モードの場合、300dpi
 - 高品質モードの場合、600dpi
4. 確認して、[OK] をクリックします。

終わった後に

文書の細い線画が正しくプリントされない場合は、以下を参照してください。 [細い線画をプリントするためのトラブルシューティング \(1 ピクセル ラインの強調\) \(109 ページ\)](#)

Océ WPD2 で使用できる品質の値

白黒プリンタで使用できる値

[プリント最適化]

[プリント最適化]	説明
[標準]	特に最適化は行われません。
[ポスター] or [フォト]	大きなプロットやグラフィック アートを出力する場合にお勧めします。
[線画/テキスト]	プリント処理により、シャープな線画やテキストなどの細部の情報が際立つように最適化されます。



メモ

Océ PlotWave 900 プリンタ モデルには、追加の値が使用できます。

[プリント最適化]	使用に適している場合:
[標準 - 細密なラスタ]	グレイ領域のプリントが暗すぎる。
[線/テキスト - 細密なラスタ]	<ul style="list-style-type: none"> 一部の線画が太すぎる。 テキストが期待するほどシャープでない。

カラー プリンタで使用できる値

プリンタ モデルにより、[プリント品質] の名前と動作の値が変わります。

[Océ Print Assistant] が有効になるプリンタもあります。プリントするグラフィカル コンテンツに基づいて、各ドキュメントに最適なプリント設定を選択します。

[プリント品質] 値は Océ ColorWave 300 および Océ ColorWave 6x0 で使用できます。

設定	説明
[エコノミー] / [チェック用]	高速な [エコノミー] プリント設定は、カバレッジ エリアが小さいファイルに使用されます。 この設定は、2D-CAD 図面の高速プリントに適しています。
[プロダクション] / [提出用]	通常のプリントの場合、[プロダクション] を選択します。 この設定は、高品質な 2D-CAD 図面およびカバレッジ エリアが小さいプリント (GIS) に適しています。 この設定は、ほとんどの場合、カバレッジ エリアが大きいプリントにも適しています (3D-CAD、ポスター、写真)。
[プレゼンテーション]	[プレゼンテーション] を使用すると、カバレッジ エリアが大きいプリントで非常に高い品質が得られます (3D-CAD、ポスター、写真)。

[プリント品質] Océ ColorWave 500、Océ ColorWave 700、Océ ColorWave 3500 および Océ ColorWave 3700 に使用可能な値

設定	説明
[高速]	印刷速度は、A0 あたり約 25 秒です。 プリンタは、解像度が 300x300 DPI の場合、1 回の走査で用紙に印字します。 [高速] の値は、プリンタの最高プリント速度に対応します。
[エコノミー - 高速]	印刷速度は、A0 あたり約 30 秒です。 プリンタは、解像度が 450x300 DPI の場合、1 回の走査で用紙に印字します。  メモ Océ ColorWave 700 and Océ ColorWave 3700 でのみ使用できます。
[エコノミー]	印刷速度は、A0 あたり約 45 秒です。 プリンタは、解像度が約 600x300 DPI の場合、1 回の走査で用紙に印字します。
[プロダクション - 高速]	印刷速度は、A0 あたり約 70 秒です。 プリンタは、解像度が 450x600 DPI の場合、2 回の走査で用紙に印字します。  メモ Océ ColorWave 700 および Océ ColorWave 3700 でのみ使用できません。
[プロダクション]	印刷速度は、A0 あたり約 90 秒です。 プリンタは、解像度が 600x600 DPI の場合、2 回の走査で用紙に印字します。

設定	説明
[品質 - 高速]	印刷速度は、A0 あたり約 160 秒です。 プリンタは、解像度が 450x600 DPI の場合、4 回の走査で用紙に印字します。  メモ Océ ColorWave 700 および Océ ColorWave 3700 でのみ使用できません。
[品質]	印刷速度は、A0 あたり約 200 秒です。 プリンタは、解像度が 600x600 DPI の場合、4 回の走査で用紙に印字します。
[高品質 - 高速]	印刷速度は、A0 あたり約 205 秒です。 プリンタは、解像度が 450x600 DPI の場合、6 回の走査で用紙に印字します。  メモ Océ ColorWave 700 および Océ ColorWave 3700 でのみ使用できません。
[高品質]	印刷速度は、A0 あたり約 265 秒です。 プリンタは、解像度が 600x600 DPI の場合、6 回の走査で用紙に印字します。 [高品質] の値は最高のプリント品質に対応します。  メモ Océ ColorWave 700 および Océ ColorWave 3700 でのみ使用できません。

[プリント品質] Océ ColorWave 6x0 PP で使用可能な値

設定	説明
[エクスプレス]	この設定は、視距離が長く (4m 以上)、トナー カバレッジが低い用途での高速印刷に適しています。 プリント速度は、A0 あたり約 30 秒です。
[エクスプレス プラス]	この設定は、視距離が長い (4m 以上) 用途での高速印刷に適しています。 プリント速度は、A0 あたり約 40 秒です。 [エクスプレス プラス] での印刷は、[エクスプレス] よりも高密度になります。
[プロダクション]	この設定は、視距離が 2 ~ 4 m の通常の印刷に適しています。 プリント速度は、A0 あたり約 60 秒です。 [プロダクション] での印刷は、[エクスプレス プラス] よりも高密度になります。
[プロダクション プラス]	この設定は、視距離が 2 ~ 4 m の通常の印刷に適しています。 プリント速度は、A0 あたり約 80 秒です。 [プロダクション プラス] プリント設定を使用してプリントされたプリントにアーチファクトが生じており、これを低減する場合、[プロダクション] を選択します。 [プロダクション プラス] での印刷は、[プロダクション] と同じ密度になります。
[クオリティ]	この設定は、比較的視距離が短い (1 ~ 2 m)、高品質印刷に適しています。 プリント速度は、A0 あたり約 160 秒です。 色深度が必要で、バンディングのない印刷が必要な場合、このプリント設定を使用します。 [クオリティ] での印刷は、[プロダクション プラス] と同じ密度になります。
[クオリティ プラス]	この設定は、比較的視距離が短い (1 ~ 2 m)、高品質印刷に適しています。 プリント速度は、A0 あたり約 190 秒です。 [クオリティ プラス] での印刷は、[クオリティ] よりも高密度になります。

[プリント品質] Océ ColorWave 900、Océ ColorWave 810/910 および Océ ColorWave 9000 で使用可能な値

設定	説明
[通常, ファイン詳細]	この設定は、主にラインまたはテキストコンテンツのある通常プリントに適しています。 はっきりしたライン(近くで見るのに最適)を保持したい場合、この設定を使用します。
[通常, 均一部分]	この設定は、広範囲エリアの通常プリントに適しています。 なめらかな塗りつぶし(遠くから見るポスターに最適)をしたい場合、この設定を使用します。
[拡張, ファイン詳細]	この設定は、主にラインまたはテキストコンテンツのある高品質プリントに適しています。 はっきりしたライン(近くで見るのに最適)を保持したい場合、この設定を使用します。
[拡張, 均一部分]	この設定は、広範囲エリアの高品質プリントに適しています。 なめらかな塗りつぶし(遠くから見るポスターに最適)をしたい場合、この設定を使用します。

細い線画をプリントするためのトラブルシューティング

はじめに

文書を構成する極細の線画が正しくプリントされない可能性があります。これは、選択された [プリント品質] の値と [プリント ファイルの解像度] の値によります。ただし、この状況を解決するには、[オプション]→[詳細オプション] メニューから [1 ピクセル ラインの強調] 設定を有効にすることを推奨します。

[1 ピクセル ラインの強調]

細すぎてドキュメントで適切にプリントできないラインを強調するには、このオプションをチェックします。

たとえば、以下のようなラインが該当します:

- 幅が 1 ピクセルのライン
- または、低 [プリントファイルの解像度] でプリントされるドキュメントに含まれる非常に細いラインである場合もあります。

[1 ピクセル ラインの強調] 設定が使用可能かどうかは、プリンタ モデルによって異なります。



メモ

[1 ピクセル ラインの強調] 設定は、[データ処理中] 設定が [パフォーマンス優先 (推奨)] に設定されている場合にのみ使用可能です。

プリンタの自動動作の使用を有効にする

定義

[オプション]→[詳細オプション]メニューに入り、[プリンタの自動動作を使用]設定を定義します。

[プリンタの自動動作を使用]をチェックし、ドライバの自動動作の代わりに、プリンタの自動動作を使用できるようにします。プリント解像度がプリンタ上で計算されます。

ドライバの中には、いくつかの使用できない設定があり、その他の設定は新しい選択値 [プリンタのデフォルト] を入手します。

[プリンタの自動動作を使用] が有効な場合、Océ プレビューを使用することはできません。

出力のカラー レンダリングを改善する

はじめに

[カラー フィールド] 設定を使用すると、プリント ファイルの内容に合わせて出力のカラー レンダリングを向上できます。

[Océ Express WebTools] 上でこれらのカラー管理設定を定義し、すべてのプリント ファイルに適用できます ([プリンタのデフォルト])。プリンタ ドライバで設定した場合、コントローラ上で定義された設定が無効になります。



メモ

「[カラー フィールド]」設定は、カラー モードが「[カラー]」に設定されている場合にのみ使用できます。



メモ

Océ ColorWave プリンタの場合、Océ カラー マネジメントの詳細については、プリンタに付属の操作マニュアルを参照してください。

[カラー フィールド] 設定

[カラー モード] タイルを開き、[詳細カラー オプション] オプションにアクセスします。

これは次から選択できます。

- 「[カラー フィールド]」基本設定 これらの設定を使用して、事前に定義された設定の組み合わせを選択し、インクジェット プリンタをシミュレートできます。
- 「[グラフィックスの色]」、カラー詳細設定。これらを使用して、[RGB 入力カラー プロファイル] および [カラー レンダリング] を定義できます。

専用のプリント設定の保存と共有

専用のプリント設定を保存する

目的

同じプリント設定を日常的に使用する場合、設定を保存することで時間を節約することができます。これにより、プリントするたびに同じ設定を定義する必要がなくなります。

その結果、すべてのカスタム プリント設定の定義を共有することができます。この定義を再使用することもできます。

たとえば、次のようなメリットがあります：

- 不正確または矛盾のあるプリント設定に起因するミスプリントを回避します
- プリンタ ユーザーの負担を軽減します
- プリンタの使用に関する会社のポリシーを確立します
- 特定の文書の種類または顧客について、プリント スタイルを定義します

次の手順は、クライアント/サーバー環境で特に役立ちます。カスタマイズ可能なすべてのプリント設定を定義して保存するために役立ちます。

長所

クライアント/サーバー環境の場合、まず、サーバー ワークステーションから専用のプリント設定を定義することをお勧めします。次に、定義したプリント設定をクライアント側に転送します。

ピアツーピア環境の場合、専用の設定をいつでも定義して保存することができます。ワークステーションのプリンタ ページから手順を実行します。

カスタム ページ サイズの定義

始める前に

ワークステーションのプリンタ ページから Océ WPD2 を開きます。

以下のセクションを参照してください: [アプリケーションからアクセスするには \(60 ページ\)](#)

手順

1. [オプション]→[カスタム ページ サイズ] メニューを開きます。[カスタム ページ サイズ] ウィンドウが表示されます。
2. 作成するカスタム ページの [長さ] および [幅] を入力します。
3. 自由テキスト フィールドに名前を入力します。



メモ

32 文字までの名前を定義できます。名前が長すぎる場合、システムによって短縮されます。

4. [節約 (セーブ)] をクリックして、このカスタム ページを保存します。

結果

カスタム ページが [アプリケーションに従ったページ] リスト (リストの末尾にあります) から使用できるようになります。



メモ

[アプリケーションに従ったページ] リストからカスタム ページ サイズを定義することもできます。「[カスタムのページ サイズを作成する]」ボタンをクリックして実行します。

カスタムプリセットの定義および保存

手順

1. [表示数を増やす] をクリックして、プリンタドライバインターフェースを展開します。
2. プリント設定のグループ用にプリント設定値を定義します。
メイン タイルの下の名前が [カスタム] に変化します。
3. [カスタム] という単語にマウス カーソルを合わせます。
4. [節約 (セーブ)] アイコンをクリックします。
5. プリセット用に説明的な名前を入力します。
6. <Enter> キーを押して確定します。
作成したプリセットは、このプリント設定のグループに関連付けられたプリセットのリストから使用することができます。
プリセットのリストを表示するには、メイン タイルをクリックします。

テンプレートの作成および保存

手順

1. 該当するプリント設定を定義します。
2. 「Océ WPD2」ウィンドウの一番下から、[テンプレート] フィールドに値 [カスタム] が設定されます。
[カスタム] という単語にマウスカーソルを合わせます。
3. [節約 (セーブ)] アイコンをクリックします。
4. テンプレートの名前を入力します。
5. <Enter> キーを押して確定します。テンプレートのリストにテンプレートが追加されます。



メモ

完全なテンプレートのリストは、[オプション]→[テンプレート] メニューで使用できます。



メモ

最大 100 のテンプレートを保存できます。

結果

定義したカスタム サイズおよびカスタム プリセットがテンプレートに保存されます。このテンプレートをエクスポートして、共有することなどができます。すべてのバージョンの Océ WPD2 に適用します。



メモ

Océ WPD 1.x 用に作成されたテンプレートは、WPD2 とは互換性がありません。

テンプレートの共有の管理

テンプレートのエクスポート

はじめに

テンプレートには、プリントの作成に関連するすべてのプリント設定が格納されます。

プリンタドライバをより便利に使用するために、1つまたは複数のテンプレートをエクスポートまたはインポートすることができます。

[オプション]→[テンプレート]メニューから [インポート] / [エクスポート] ボタンを使用することができます。

目的

定義したプリント設定を保存するには、作成したテンプレートをエクスポートします。たとえば、このテンプレートを後で別のプリンタで使用することができます。また、テンプレートをエクスポートして、別のユーザーと共有することができます。



メモ

テンプレートには、コンテキスト関連の設定は格納されません。これらの利用できない機能は、以下のとおりです。地域設定、カスタムプリセット名、プリンタの構成、アカウント情報またはカスタムページサイズのリスト。

手順

1. [オプション]→[テンプレート]メニューを開きます。
[テンプレート]ウィンドウが表示されます。
2. エクスポートするテンプレートを選択します。
3. [エクスポート]ボタンをクリックします。
4. テンプレートファイルの保存場所を参照します。
5. 確認して、[節約 (セーブ)] をクリックします。

テンプレートのインポート

目的

プリント設定の定義にかかる時間を節約するには、テンプレートをインポートします。

手順

1. [オプション]→[テンプレート] メニューを開きます。
[テンプレート] ウィンドウが表示されます。
2. [インポート] ボタンをクリックします。
3. テンプレート ファイルが保存されている場所を参照します。



メモ

テンプレート ファイルには **.tmpl** 拡張子が付いています。

4. 確認して、[インポート] をクリックします。

カスタム サイズの共有の管理

カスタム ページ サイズの共有

目的

クライアント/サーバー環境で作業する場合、カスタム ページ サイズを定義すると、ネットワークのすべてのユーザーが便利に使用することができます。 ページ サイズを一度定義するだけで、他のユーザーと共有することができます。

使用する場合

クライアント/サーバー ネットワーク環境で、サーバーから。



メモ

カスタム ページ サイズを共有するために十分な権限 (管理者) が必要です。権限については、プリントシステム管理者に確認してください。



メモ

Windows 7 では、カスタム サイズを共有するには、昇格された管理者権限を持つユーザーとしてプリンタ ドライバを実行する必要があります。

手順

1. [オプション]→[カスタム ページ サイズ] メニューを開きます。[カスタム ページ サイズ]ウィンドウが開きます。
2. カスタム サイズを定義します。
3. カスタム サイズを保存します。
カスタム サイズのリストに表示されます。
4. 共有するカスタム サイズを選択します。[共有する]ボタンをクリックします。
このカスタム サイズの[共有済み] 列に [共有済み] アイコンが表示されます。
5. 共有するすべてのカスタム サイズについて前の手順を繰り返します。
6. 確認して、[OK]をクリックします。

結果

[共有済み] 列で [共有済み] アイコンに関連付けられているすべてのカスタム サイズは、ネットワークで同じプリンタ ドライバを使用するすべてのユーザーが使用できるようになります。

- カスタム サイズが共有されている場合、(クライアント ワークステーションで) 共有されたカスタム サイズに関連付けられている南京錠が閉じた (ロックされた) 状態になります。
- カスタム サイズがユーザーによってローカルで定義されている場合、ローカルのカスタム サイズに関連付けられている南京錠が開いた (ロック解除された) 状態になります。

カスタム ページ サイズを共有解除する

手順

1. [カスタム ページ サイズ] ウィンドウで、共有解除するカスタム ページ サイズを選択します。
2. [共有しない] ボタンをクリックします。
このカスタム サイズの [共有済み] 列から、[共有済み] アイコンが消えます。
3. 共有解除するすべてのカスタム ページ サイズについて前の手順を繰り返します。
4. 確認して、[OK] をクリックします。

結果

カスタム ページ サイズは、サーバー上のカスタム サイズのリストからは削除されません。ローカル カスタム ページ サイズとみなされます。

ネットワークのユーザー (クライアント) は、このカスタム ページ サイズを使用できなくなります。ユーザーのカスタム ページ サイズのリストからは、このカスタム ページ サイズが削除されます。

この「共有解除」されたカスタム ページ サイズがクライアントのワークステーションで使用中の場合、有効なカスタム ページ サイズ (最も近い定義のもの) によって置き換えられます。

カスタム サイズのエクスポート

はじめに

ユーザー プロファイルに応じて、Océ WPD2 に [カスタム ページ サイズ] をエクスポートできます。
カスタム用紙サイズは、「.cpsz」ファイルに保存されます。このファイルは編集できません。

手順

1. [オプション]→[カスタム ページ サイズ] メニューを開きます。
2. [すべてエクスポート] をクリックします。
ウィンドウが開き、ネットワークを参照できます。
3. ネットワークを参照し、カスタム用紙サイズのエクスポート先を選択します。
4. カスタム用紙サイズを保存する「.cpsz」ファイルに名前を付けます。
5. [節約 (セーブ)] をクリックして、定義しておいた場所にカスタム用紙サイズをエクスポートします。

[カスタム サイズ] ファイルのインポート

目的

カスタム サイズ ファイルをインポートして、以下のような以前に定義されたカスタム サイズを利用することができます:

- 会社全体で共通して使用するためにプリント システム管理者によって定義されたもの
- 別のワークステーションまたは別の Océ WPD/WPD2 プリンタ ドライバから自分で定義したもの

使用する場合

ローカル カスタム サイズの数が増えすぎる前に。



メモ

以前のプリンタ ドライバ、Océ WPD で定義されたカスタム サイズ ファイルは、新しい Océ WPD2 と互換性があります。



メモ

使用している からローカルで使用可能なローカル カスタム サイズのリストには、100 までのカスタム サイズを含めることができます。

手順

1. [カスタム ページ サイズ] ウィンドウで、[インポート] をクリックします。ウィンドウが開き、ネットワークを参照できます。
2. ネットワークを参照し、カスタム ページ サイズの保存先を選択します (.cpsz ファイルを探します)。
3. [インポート] をクリックして、[カスタム ページ サイズ] 定義を にインポートします。



メモ

では、新規の有効なページ サイズのみがインポートされます。 ページ サイズが既に存在するか、無効な場合は、警告メッセージが表示されます。

[アカウントティング]を使用して、

[アカウントティング] - 詳細

はじめに

[詳細アカウントティング] 設定は、プリンタ コントローラで Océ Account Logic のアクティベーションが実行されている場合にのみ使用することができます。

[アカウントティング ステータス]

[アカウントティング] タブを開く前であっても、アカウントティング定義が有効かどうかを一目で確認することができます。不足しているアカウントティング情報がある場合、[アカウントティング] タブに警告アイコンが表示されます。

[アカウントティング] タブを開くと、アカウントティング ステータスが表示されます。

- [アカウントティング情報はプリントに有効です。]
または
- [アカウントティング情報が完全ではありません。]



アカウントティング フィールド

アカウントティング フィールドは、Océ Account Logic から取得されます。

フィールドへの入力にはいくつかのルールがあります:

- 青色のドットは、必須フィールドを示します。
- アカウントティング フィールドには依存関係があります。次のような場合があります:
 - これらは、Océ Express WebTools から、またはプリント時にのみ定義することができます。
 - これらは、互いに依存関係を持ちます。
 この場合、フィールドには関連する指示が入力されます。表示された指示に従います。
- 複数行および自由テキスト フィールドには、255 文字までの Unicode 文字を入力することができます。

アカウントティング 検証

[OK] をクリックすると、自動検証が実行され、アカウントティング フォームに入力された値が確認されます。(<Enter> キーを押した場合も同様です。)

不正な値または必須フィールドへの入力漏れがある場合、問題のあるアカウントング フィールドが強調表示され、警告が表示されます。

不正な値または入力漏れがすべて修正されるまで、文書をプリントすることはできません。

アカウントングの優先順位を定義します。

アカウントング フォームは、通常、プリンタ ドライバが印刷する文書を処理するとウィンドウに表示されます。例えば、[Océ プレビュー] がアクティブ化されると、文書のプレビュー後にアカウントング ウィンドウが表示されます。デフォルトの動作は変更することができます。

各ユーザーはアカウントング ウィンドウの表示の優先順位をつけることができます。優先順位をつけることで、プリンタ ドライバの処理とは別にアカウントング情報を入力することができます。これにより、ユーザーのワークフローがより効率的になることがあります。

プリンタ ドライバのアカウントング ウィンドウに優先順位をつけるには、以下の手順に従ってください。

1. [オプション]→[詳細オプション] メニューを開きます。
2. 「[トラブルシューティング]」セクションで「[アカウントング ウィンドウを優先]」チェックボックスを有効にします。
3. [OK] をクリックして確認します。
[Océ プレビュー] がアクティブ化されていると、文書のプレビュー後にアカウントング ウィンドウが表示されます。アカウントング ウィンドウは、前のセクションで説明されているように動作します。

ユーザー認証の管理

はじめに

一部のプリンタ モデルでは、ジョブをプリントするのにユーザー認証が必要です。認証機能に対応したプリンタ モデルでは、プリンタ ドライバの上側バーに [ユーザ アカウント名] フィールドが表示されます。

[ユーザ アカウント名] のデフォルト値は、指定されたドメインの指定されたワークステーションにログインするのに使うユーザー名です。「[完全修飾ドメイン名]」。次のシンタックスを使用します。<ユーザー名>@<ドメイン> (例 regularuser@my.domain.net)。

[ユーザ アカウント名] は Océ Job Ticket で使用します。これにより、ユーザーはプリンタのユーザ パネルからユーザー認証を必要とするプリンタにある文書呼び出すことができます。プリンタ ドライバからのユーザー名は、プリンタのユーザ パネルからログインするときにユーザーが入力するものと同じでなければなりません。

使用する場合

次の場合の [ユーザ アカウント名] の編集:

- プリンタに文書を送信するユーザーがプリンタ ドライバが実行されているワークステーションにログインしているユーザーと異なる場合。
- 文書の送信元のワークステーションがドメインに属していない場合。
- 文書の送信元のワークステーションが、印刷システムのドメインとは異なるドメインに属している場合。

プリント先のシステムでユーザー認証機能が無効になっている場合は、[ユーザ アカウント名] フィールドを無効にすることができます。これは [オプション]→[詳細オプション] メニューから行います。

手順

1. [ユーザ アカウント名] を編集するには、表示された名前をクリックします。
テキスト フィールドが編集可能になります。
2. 新しい [ユーザ アカウント名] を入力します。



メモ

ワークステーションがプリンタと同じドメインにある場合、ドメイン情報はオプションとなります。

3. [OK] をクリックして確認します。



重要

プリンタ ドライバはユーザー アカウント名の確認は行いません。有効で正しいユーザー名を入力したことを確認してください。

セキュリティ機能の詳細は、「Océ PlotWave-ColorWave Systems Security」Administration guide またはプリンタのオペレーション ガイドを参照してください。

第7章

他のアプリケーションとの連携

プリント設定はどこで定義すればよいですか?

目的

文書をプリントする場合、プリント元のアプリケーションからこの文書のプリント設定を定義することができます。また、Océ WPD2 からプリント設定を定義することもできます。

ここでは、プリント設定を定義する場所についていくつかのアドバイスを提供します。これらの推奨事項に従うことで、プリント時にすべてのプリント設定が確実に考慮されるようにすることができます。

プリンタ ドライバとアプリケーションの間で交換されるプリント設定

以下のプリント設定は、アプリケーションまたは Océ WPD2 のプロパティ ウィンドウから定義することができます:

- ページサイズ: リスト、選択および方向
- 用紙ソース
- 部数および丁合い
- カラー モード
- プリント ファイルの解像度

これらのプリント設定の値は、アプリケーションと Océ WPD2 のプロパティで常に同じになります。



メモ

一部のアプリケーションには制限があり、プリンタ ドライバから定義された部数は取得されません。たとえば、AutoCAD および MS Office アプリケーションなどがその例です。

手順

1. 以下の手順でプリント設定を定義することをお勧めします。

	通常のプリント設定	文書に特有のプリント設定
推奨	通常使用するプリント設定を、プリンタのデフォルトのプリント設定として定義することをお勧めします。	文書に特有のプリント設定は、アプリケーションから定義することをお勧めします。
例	たとえば、Océ プレビューの動作をデフォルト設定として定義することができます。	たとえば、部数をアプリケーションから定義します。
操作方法	以下のセクションを参照してください: プリンタ ドライバのデフォルトのプリント設定を定義するには (63 ページ)	<ol style="list-style-type: none">1. アプリケーションの ファイル - プリント ウィンドウを開きます。2. 必要に応じて設定を定義します。 「プリント」ウィンドウで、[プロパティ] をクリックして、変更が Océ WPD2 にどのように反映されるかを確認します。

AutoCADからのプリント

Océ WPD2 を AutoCAD プロッタ ドライバとして定義する

始める前に

AutoCAD アプリケーションで Océ WPD2 を使用してプリントするには、「インストール」の章の指示に従って事前にプリンタ ドライバをインストールする必要があります。

次に、Océ WPD2 を AutoCAD プロッタとして定義する必要があります。

また、AutoCAD プロッタ用のプリント設定を調整することができます。

最後に、定義した最適化されたドライバからプリントすることができます。

手順

1. AutoCAD アプリケーションを開きます。
2. ファイル - Plotter Manager (または Home (アイコン) - Print - Manage Plotters) から、「プロッタの追加」ウィザード] をダブルクリックします。
3. [はじめに] ウィンドウの [次へ] ボタンをクリックします。
4. [システム プリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。
5. Océ WPD2 に関連付けられている Océ プリンタを選択し、[次へ] を 2 回クリックします。
6. プロッタ名を入力して、[次へ] をクリックします。
次に、プロッタ設定を調整できます。

プロッタ設定の調整

手順

1. [プロッタ設定の編集...] をクリックして、ドライバのプロパティにアクセスします。
2. [デバイスおよび文書設定] タブで [カスタム プロパティ] ボタンをクリックして、Océ WPD2 のカスタム設定を表示させます。



メモ

[構成パラメータ] ウィンドウが表示されるので、実際のプリンタ設定に応じて設定を調整して確認します。

3. カスタム設定を定義して、[OK] を 2 回クリックします。
4. [終了] をクリックします。
Océ プロッタのインストールが完了し、Autodesk Plotter Manager の [プロッタ] ウィンドウに表示されます (プロッタ名には「.pc3」という拡張子が付きます)。



メモ

ファイル - プロット メニューを使用して、プリント前に AutoCAD アプリケーションから設定を変更することもできます。Océ プロッタ (.pc3) を選択して、[プロパティ] をクリックします。

AutoCAD からのプリント



重要

Autodesk Plotter Manager を使用して作成されたプロッタ (.pc3 ファイル) は、Océ Windows Driver の特定のバージョン専用です。ドライバのアップグレード後、.pc3 ファイルからすべてのプロッタ設定が復元されていることを確認します。必要に応じて設定を調整します。



メモ

Océ プリンタにプリントする場合、必ず、AutoCAD プロッタ設定が格納されているプロッタ設定ファイル (.pc3) を使用します。

手順

1. ファイル - プロット ウィンドウを開きます。
2. [プロット デバイス] タブでリストから Océ プロッタ (.pc3) を選択します。
3. 必要に応じて設定を変更します。



メモ

「ページ サイズ」リストから適切な方向 'Portrait' ([縦長]) または 'Landscape' ([横長]) を直接選択して、方向を簡単に設定することができます ([横長] 方向は、[ページ サイズ] 幅がプリンタ幅しきい値以下の場合にのみ使用可能です)。

4. [プロット] をクリックします。



メモ

エラー メッセージが表示される場合があります。以下を参照してください。 [AutoCAD ベースのアプリケーションへの最適化の確認 \(130 ページ\)](#)。

AutoCAD でコピー部数を管理する

質問

Océ WPD2 を使用すると、AutoCAD 2000 以上のアプリケーションでは、ドライバで設定した部数が認識されませんがなぜですか？

回答

アプリケーションからコピー部数を直接設定します。この値は、ドライバで設定された値よりも優先されます。

1. ファイル - プロット ウィンドウを開きます。
2. [プロット デバイス] タブでコピー部数を設定します。



メモ

Océ Wide format Printer Driver 2 for Microsoft® Windows® for AutoCAD® - 「クイックリファレンスガイド」もご覧ください。コーポレートウェブサイトから入手できます。
["http://downloads.oce.com/ProductDownloads/Index/219"](http://downloads.oce.com/ProductDownloads/Index/219)

トラブルシューティング

AutoCAD ベースのアプリケーションへの最適化の確認

目的

AutoCAD からのファイルをプロットするとき、次の警告メッセージが表示される場合があります。これは、ドライバのセットアップまたはアップグレード時に、AutoCAD 用の最適化が正しくインストールされなかったことを意味します。

アップグレード中の警告メッセージ

警告: [プリンタ ドライバでは、AutoCAD に最適化された dll を更新またはコピーする必要があります。この操作を実行するユーザー権限がありません。システム管理者にお問い合わせください。]

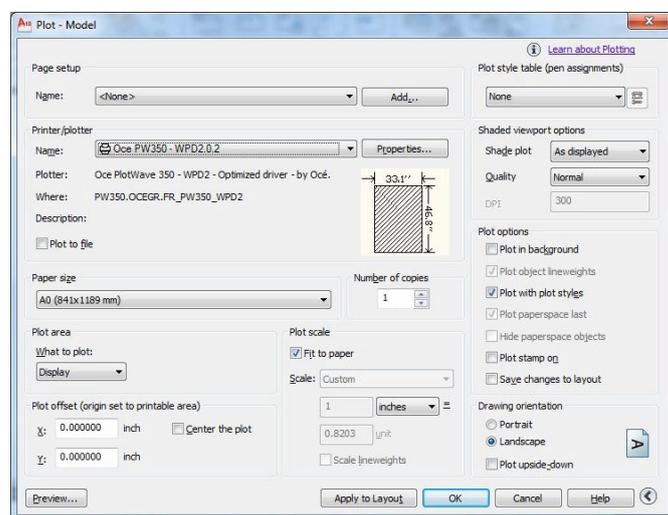
AutoCAD 2000i 以上で正しく最適化するための前提条件

インストールするコンピュータのシステム管理者権限があることを確認してください。

- Océ WPD2 の最適化
- Océ WPD2 のアップグレード

手順

1. AutoCAD アプリケーションを起動します。
2. ファイル - プロットを選択します。
3. Océ WPD2 を使用するプリンタを選択します。
アプリケーションによって必要なファイルが自動的に読み込まれ、起動されます。
4. 「Optimized driver - by Océ」と表示されることを確認します。



[13] AutoCAD の最適化

Océ Job Ticket 動作を定義します。

はじめに

Océ Job Ticket とは、Océ プリンタへ送られる追加情報であり、プリンタの詳細機能を選択します。

プリンタへ送信するファイルに「Océ Job Ticket (.OJT)」ヘッダーを添付する場合、「[Océ Job Ticket 有効]」オプションをチェックします。

通常、カスタム開発されたソフトウェア ソリューションなど、一部のサードパーティーのアプリケーションでは、OJT 機能を無効にすることもできます。



メモ

Océ Job Ticket 機能は [オプション]→[詳細オプション] メニューから管理します。

有効

これはデフォルト値です。

無効

このオプションを無効に設定すると、Job Ticket を追加せずに文書がプリンタへ送信され、ドライバの多くの設定がグレー表示になります。



メモ

プリンタ ドライバを再起動して、プリント設定が使用できるかどうかを調べてください。プリンタは、プリント設定のうち有効な値のみを受け取ります。

Océ Job Ticket 動作を定義します。

第 8 章

付録: Océ WPD Cleaning Tool について

Océ WPD Cleaning Tool とはなにか

はじめに

Océ WPD Cleaning Tool はスタンドアロンの実行可能ファイルです。

ファイル名は **ocewpd_clean.exe** です。

この実行可能ファイルをインストールする必要はありません。USB キーから実行できます。

Océ WPD Cleaning Tool は、Océ 社の国際的な Web サイトからダウンロードできます。

Océ WPD2 ページに移動します。Downloads/Drivers and Software タブで Utilities タイプを選択し、Cleaning Tool を検索します。

定義

Cleaning Tool の目標は、トラブルシューティング ユーティリティを提供することにあります。

このユーティリティにより、ワークステーションから、古いバージョンの Océ WPD プリンタ ドライバの残存コンポーネントがすべて削除されます。両方のプリンタ ドライバに該当します: WPD 1.x および WPD2 v2.x。

Cleaning Tool を使用して、

- Océ WPD プリンタ ドライバのインストールで問題が発生した場合。
- 古いバージョンの Océ WPD プリンタ ドライバのインストール時に使用されたインストール方法が不明の場合。
- 同一のワークステーションへの Océ WPD プリンタ ドライバのインストールに「セットアップ」および「プリンタの追加」インストール方法が使用されている場合。
- 不正な動作のため Océ WPD プリンタ ドライバをアンインストールした場合。

ワークステーションに問題が残っていないことを確認します。

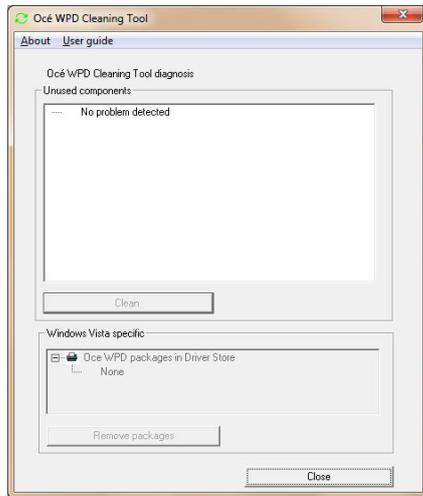


メモ

Océ WPD Cleaning Tool は Océ WPD プリンタ ドライバにのみ該当します (WPD 1.x および WPD2 v2.x)。Océ または他社製のその他のプリンタ ドライバは変更されません。

「WPD クリーン」なワークステーションの例

ワークステーションが「WPD クリーン」な場合、古いバージョンの Océ WPD プリンタ ドライバの残存コンポーネントは存在しません。新規バージョンのプリンタ ドライバをインストールできます。



[14] 「WPD クリーン」なワークステーションの結果

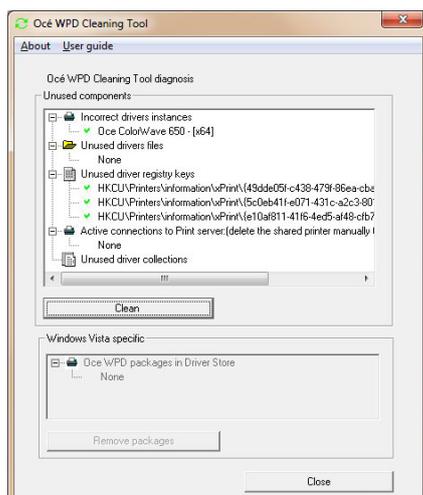
「WPD クリーン」でないワークステーションの例

ワークステーションが「WPD クリーン」でない場合、Océ WPD Cleaning Tool によって、古いバージョンの Océ WPD の残存コンポーネントが検出されます。

残存コンポーネントには次のようなものがあります。

- プリンタと関連付けられていない Océ WPD プリンタ ドライバインスタンス
- ハードディスク上の Océ WPD 関連ファイル
- レジストリ内の Océ WPD 関連キー

Océ WPD Cleaning Tool を使用して、ワークステーションをクリーンアップします。実行しない場合、プリンタ ドライバのインストールおよび動作は保証されません。



[15] 「WPD クリーン」でないワークステーションの結果

クライアントワークステーション上での Océ WPD Cleaning Tool の使用

はじめに

ワークステーションの任意の場所から Océ WPD Cleaning Tool を実行できます。

ワークステーションにインストールする必要はありません。USB キーから実行することもできます。

このセクションでは、ワークステーション上で Cleaning Tool を実行する手順について説明します。

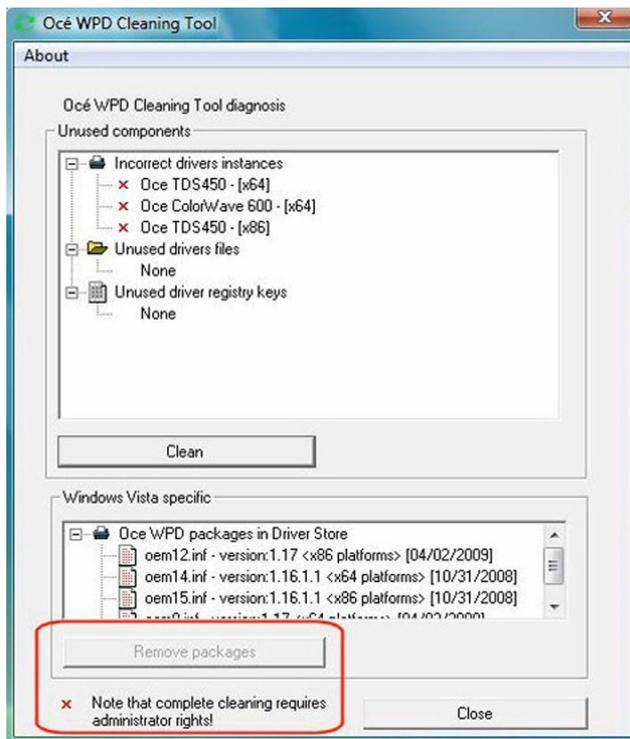
クライアント/サーバー構成では、クライアントワークステーションが「WPD クリーン」になった状態で、サーバー上で Cleaning Tool を実行できます。そのためには、同じ手順を使用します。



メモ

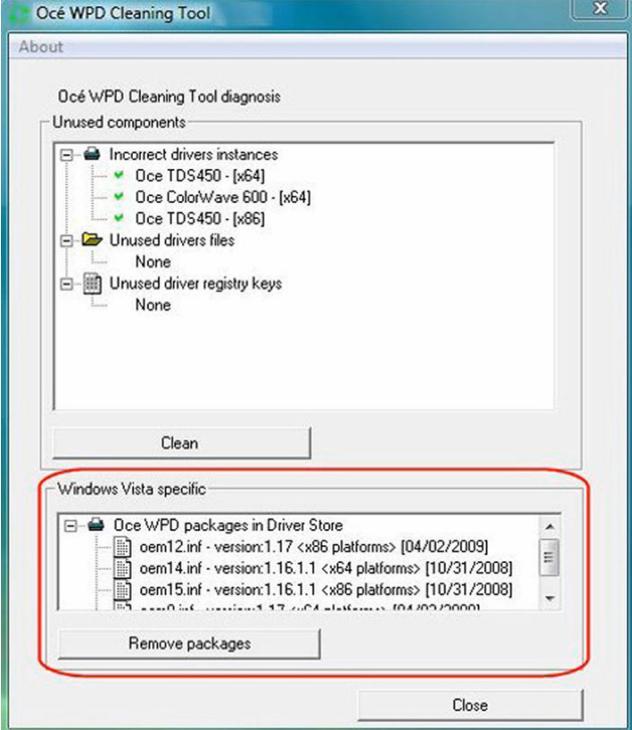
ワークステーション上の複数ユーザー

ワークステーションに複数のユーザーがログインできる場合、同一のワークステーション上ですべてのユーザーが Cleaning Tool を実行するようにします。クリアする未処理は、各ユーザーに特有なものです。例、一時ファイル、レジストリ キーなど。



手順

1. 「Ocewpd_clean.exe」実行可能ファイルをダブルクリックして、Cleaning Tool を実行します。

ユーザーの権限	対処法
一般ユーザー権限	Cleaning Tool によって、赤の × 印でマークされた項目は現在クリーンアップできないというメッセージが表示されます。これらの項目は、管理者権限を持つユーザーのみがクリーンアップできます。緑のチェック マークが付いた項目はクリーンアップできます。
管理者権限	リストアップされたすべての項目をクリーンアップできます。 

2. [Clean]ボタンをクリックして、ワークステーションをクリーンアップします。
3. ワークステーションに複数のユーザーがログインできる場合、各ユーザーについてステップ 1 および 2 を繰り返します。
これで、サーバー上で Cleaning Tool を実行するか、または Océ WPD プリンタ ドライバの新規インストールをインストールできるようになりました。



Canon Inc.

www.canon.com

Canon U.S.A., Inc.

www.usa.canon.com

Canon Canada Inc.

www.canon.ca

Canon Europe Ltd

www.canon-europe.com

Canon Latin America Inc.

www.cla.canon.com

Océ Australia Pty Ltd

www.oce.com.au

Canon China Co., Ltd

www.canon.com.cn

Canon Singapore Pte. Ltd

www.canon.com.sg

Canon Hongkong Co., Ltd

www.canon.com.hk